

多田駿関係文書目録

2019.12 PDF作成

国立国会図書館憲政資料室

多田駿関係文書目録【凡例】

- [] は、目録作成者による推定を示す。
- 年月日は主に資料の表記に従った
- ホチキス・クリップ等は適宜外した。外したか否かの区別は原則として目録に記していない。

* 本目録は、憲政資料室が藤枝賢治氏に依頼して作成したものである。

多田駿關係文書目錄 【目次】

1. 書簡	p. 1
2. 手帳	p. 5
3. 任官前	p. 6
4. 砲兵将校期	p. 6
5. 満洲国	p. 7
6. 支那駐屯軍	p. 7
7. 参謀次長	p. 11
8. 北支那方面軍	p. 12
9. 予備役編入後	p. 14
10. 極東国際軍事裁判	p. 16
11. 覚書	p. 18
12. 諸行事	p. 19
13. 辞令等	p. 21
14. 追憶録	p. 23
15. 書籍	p. 24
16. 雜件	p. 24
17. 写真	p. 25
18. 写真帖	p. 34
19. 第2次搬入分	p. 35

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
1. 書簡											
1	1	暁烏敏書簡	暁烏敏	多田睦	昭和28年2月22日	手紙・海苔等の拝受、作成者は昨夜京都より(石川県松任へ)帰宅	墨書	葉書	作成者の読みは「あけがらす はや」。もと資料番号100と一括。	1通	
1	2	暁烏敏書簡	暁烏敏	多田睦	昭和29年1月9日	病に関することか	墨書	葉書	もと資料番号100と一括。	1通	
2		暁烏ふさ書簡	暁烏ふさ	多田睦	昭和30年4月21日	十数年前に主人の伴で南京訪問をした際に(多田)將軍に会い感心したことが忘れられない	墨書	葉書	「睦子」宛。作成者は石川県松任在住。もと資料番号100と一括。	1通	
3		浅原健三書簡	浅原健三	多田駿	昭和21年3月19日	多田への訪問を試みるも失敗、御芳墨に接し嬉しい、石原莞爾の来訪	ペン			1通	
4		涉原健之書簡	涉原健之	多田睦	昭和27年2月14日	別府ではお茶が流行、明日講演旅行に出発	ペン		もと資料番号100と一括	1通	封筒、1枚
5	1	有馬忠三郎書簡	有馬忠三郎	多田睦	昭和26年8月10日	近況報告	ペン		「睦子」宛。もと資料番号100と一括。	1通	封筒、1枚
5	2	有馬忠三郎書簡	有馬忠三郎	多田睦	昭和30年3月19日	贈って頂いた梨を仏前に供える、昨日の七七供養に遠方から焼香に来たことへの感謝	墨書			1通	封筒、1枚
6		石井武彦書簡	石井武彦(陸軍予科士官学校生徒隊)	多田駿	昭和18年4月25日	東久邇宮俊彦王を同期に仰ぎ光栄、将校生徒の修養に邁進	ペン	葉書	もと資料番号70と一括	1通	
7	1	石原莞爾書簡	石原莞爾	多田駿	昭和20年2月13日	16日午後軍法会議出頭、21日までに東京出発	ペン	葉書	鶴岡で作成	1通	
7	2	石原莞爾書簡	石原莞爾	多田駿	[昭和21年]7月15日	治療にも拘わらず膀胱鏡検査の結果新しい腫物発生、近日退院	ペン	葉書	石原は東京通信病院入院中。もと資料番号100と一括。	1通	
7	3	石原莞爾書簡	石原莞爾	多田駿	昭和22年3月17日	近く蓮見博士が石原の癌病原体の電子顕微鏡写真を掲載、ワクチン造成	ペン	葉書	もと資料番号100と一括	1通	
7	4	石原莞爾書簡	石原莞爾	多田駿	昭和22年9月8日	A級戦犯釈放者の中に多田の名が無いのは容疑者でなくなっているからではないか、石原自身の行動不自由(病氣)、北平にいる本間の仮釈放	ペン	葉書	石原は山形県鮎川郡吹浦村在住。もと資料番号100と一括。	1通	
7	5	石原莞爾書簡	石原莞爾	多田駿	昭和23年12月14日	深刻な病状、注文を受けた民田茄子の種の発送	ペン	葉書	もと資料番号100と一括	1通	
8		石原莞爾書簡	石原莞爾	多田睦	昭和23年12月22日	多田死去への驚愕、自身の深刻な病状、板垣処刑確定へ	ペン		もと資料番号100と一括	1通	封筒、1枚

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
9		出光佐三書簡	出光佐三(出光興産)	多田睦	昭和30年9月20日	安田氏の件でご寛恕を乞う(新卒者教育の義務)、河本(大作)遺骨未帰還への遺憾	墨書		もと資料番号100と一括	1通	封筒、1枚
10		岩崎書簡	岩崎彦口	多田駿	2月14日	「多田邸を訪ねて」。鏡が浦(館山)・菜畑を詠んだ和歌、病後に伺いながら快諾されたことへの感謝	墨書		作成者は八幡(館山市)居住。もと資料番号100と一括。	1通	
11		大谷光瑞書簡	大谷光瑞	多田駿	昭和8年8月20日	御恵賜の野菜は佳木斯(北満)移民の成績優等賞	ペン		大連本願寺より新京へ郵送	1通	封筒、1枚
12		大橋理祐書簡	大橋理祐	[多田駿]	昭和18年11月9日	先日衡立が送付、毎日会社要務に追われ緊張している	墨書		大橋は京都在住	1通	
13	1	小笠原理三書簡	小笠原理三	多田睦	昭和26年12月30日	南京豆恵贈への感謝	ペン		作成者は岩手県宮古の商店主。もと資料番号100と一括。	1通	封筒、1枚
13	2	小笠原理三書簡	小笠原理三	多田睦	昭和28年12月20日	鮭を送付したこと	ペン	葉書		1通	
13	3	小笠原理三書簡	小笠原理三	多田睦	昭和29年12月21日	菓子・南京豆・御茶等送付への感謝、御法会への参列	ペン	葉書		1通	
14		小川安太郎書簡	小川安太郎	多田駿	昭和13年10月29日	華北・上海での飛躍・勝利を祝賀。新聞記事の内2枚は「参謀長の鞆持ち」(多田第16師団参謀長に近侍した時の回想)、1枚は相馬御風関係	墨書		多田は参謀本部所属	1通	新聞切抜、3枚
15		金沢盤朝書簡	金沢〔盤か〕朝	多田駿	昭和18年11月9日	自身の息子(中佐)が国民学校訓導、多田の揮毫を受領できて有難い	墨書		巻紙。北佐久郡小諸町で作成。名の一字目は「盤」か「豊」	1通	封筒、1枚
16		河本開二書簡	河本開二	多田睦	昭和26年6月6日	睦の両親の法名を通知	墨書	葉書	作成者は播州三日月在住。もと資料番号100と一括。	1通	
17		河本くめ書簡	河本くめ	多田睦	4月23日	多田夫妻の出発に際して	墨書		「睦子」宛。播磨佐用郡三日月で作成。もと資料番号100と一括。	1通	封筒、1枚
18		河本大作書簡	河本大作	多田佐登子	民国32(昭和18)年6月3日	決戦体制下で窮屈とは言え人生修練には好適	墨書	葉書	華北・太原市より郵送。もと資料番号100と一括。	1通	
19		相馬御風書簡	相馬御風	多田駿	[昭和17年以降]3月22日	感激により3日間の不眠後20日に安眠、先日小林町長来訪、多田夫人の温情に号泣	墨書		「多田大将」宛。もと資料番号100と一括。	1通	
20	1	相馬黒光書簡	相馬黒光	多田睦	昭和26年10月5日	本年も栗少々があるので御笑納下さい	ペン	葉書	「睦子」宛。もと資料番号100と一括。	1通	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
20	2	相馬黒光書簡	相馬黒光	多田睦	昭和26年10月14日	栗林が虫で全滅同様の中ようやく拾った栗を仏前にお供えするよう依頼	ペン	葉書	「睦子」宛。もと資料番号100と一括。	1通	
20	3	相馬黒光書簡	相馬黒光	多田睦	昭和28年9月14日	栗の発送	ペン	葉書	「睦子」宛。もと資料番号100と一括。	1通	
20	4	相馬黒光書簡	相馬黒光	多田睦	昭和28年9月28日	台風見舞への感謝、自宅は大丈夫だがよその被害が大きい	ペン	葉書	「睦子」宛。もと資料番号100と一括。	1通	
21		多田哲書簡	[多田]哲(都立小石川高校)	多田顕	昭和26年10月5日	館山へ参上したことに対する感謝、母の元気なことへのうれしさ	ペン	葉書	顕は駿長男。もと資料番号100と一括。	1通	
22	1	多田駿書簡	多田駿	多田進	昭和23年8月3日	本物の菓子を頂戴し昔ながらの味に接する、時間を作り帰省の時間を作る	墨書		「易簡」名義。進は駿次男	1通	封筒、1枚
22	2	多田駿書簡	多田駿	多田進	9月6日	先日の世話に対する感謝、病気再発の様子無し、食事も旨い、睡眠薬などの送付依頼、膀胱薬はまだ服用せず	墨書			1通	
22	3	多田駿書簡	多田駿	[多田進カ]	11月12日	土産への感謝、病状と薬	墨書		「多田易簡」名義	1通	11月12日付封筒、1枚
23		多田光・純子書簡	多田光・純子	多田睦	昭和26年6月27日	子供の字と大人の字から成る短歌数首。題目は「一年を経て」	ペン	葉書	館山市内で投函。もと資料番号100と一括。	1通	
24	1	築田太吉書簡	築田太吉	多田睦	[昭和20～23年の間]	病気への対策(多田駿が病床にある)、インフレ昂進	ペン		築田は看護書の著者。もと資料番号100と一括。	1通	
24	2	築田太吉書簡	築田多吉	多田睦	昭和30年8月20日	長寿法を少し書き直した、ビタミンCの大切さ	ペン	葉書	もと資料番号100と一括。	1通	
25		檜橋渡書簡	檜橋渡	多田睦	昭和24年4月11日	御歓待への感謝	墨書	葉書	もと資料番号100と一括	1通	
26		西村秀雄書簡	西村秀雄	多田睦	昭和15年7月22日	多田の御健勝を祈る	ペン	絵葉書	軍事郵便。京都で作成。もと資料番号238と一括。	1通	
27		西村茂書簡	西村茂(坂口部隊小森隊)	多田駿・睦		西村が上海へ上陸し自分の小隊を整備、中国の子供の様子	ペン		女性による代筆	1通	写真、1枚
28		秦秀雄書簡	秦秀雄	多田睦	18日	今月一日肋膜炎と診察され臥床、病気療養の様子、師走法事の頃は全快疑い無し	墨書		「奥方」名義。もと資料番号100と一括。	1通	
29	1	広瀬誠書簡	広瀬誠	多田睦	昭和28年6月20日	枇杷頂戴への感謝、図書館勤務の多忙、自作和歌	ペン		作成者は富山在住。もと資料番号100と一括。	1通	
29	2	広瀬誠書簡	広瀬誠	多田睦	昭和29年1月1日	年賀状	ペン	葉書	もと資料番号100と一括	1通	

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内 容	記述法	用紙	備 考	数量	付属資料
30		溝口通男書簡	溝口通男	多田駿	昭和15年5月12日	大毎社総局軍事郵便機完成披露会に際しての感謝。多田中将(華北方面最高司令官)の御健康を祈る	ペン	陸軍省 絵葉書	作成者は奈良県磯城郡内の小学校長。もと資料番号238と一括。	1通	
31		三宅一夫書簡	三宅一夫	多田駿	昭和18年11月12日	多田の高説拝聴と手厚き歓待に対する感謝	鉛筆			1通	
32		矢萩文友書簡	矢萩文友	多田駿	昭和16年5月1日	倅の葬式における御供物料に対する感謝	ペン		作成者は長野県上伊那郡中箕輪村在住	1通	封筒、1枚
33	1	横澤高記書簡	横澤高記	多田駿	昭和23年9月11日	清澤先生の訓を車中拾い読みしたが自分の頭脳では戸惑う、知人の忌中	ペン	葉書	もと資料番号100と一括	1通	
33	2	横澤高記書簡	横澤高記	多田駿	昭和23年9月15日	法華経について考えると支離滅裂のところもあった	ペン	葉書		1通	
33	3	横澤高記書簡	横澤高記	多田駿	昭和23年9月24日	親鸞上人のお話が出たこと、南塚昭純(真宗僧侶)、田辺博士による説明(浄土)	ペン	葉書		1通	
33	4	横澤高記書簡	横澤高記	多田駿	昭和23年9月27日	今もう一度先生の御示教を回想したい、思想的なこと(禅)	ペン	葉書		1通	
33	5	横澤高記書簡	横澤高記	多田駿	昭和23年11月24日	板垣(征四郎)将軍への想い。板垣が法華経を最終の時まで愛誦、大沼が獄中を想って詠んだ漢詩	ペン	葉書	「多田易簡」名義	1通	
34		春仁王書簡	春仁王	多田駿	昭和13年3月21日	少なくとも今夏以前の離任を欲せず(短期間での内地帰還は将兵国民に悪影響、事変の真意義は寧ろ今後)	ペン			1通	
35		[作成者不明書簡]	[作成者不明]	多田駿	11月9日		墨書		巻紙。宮古所縁の者による作成か(「小笠原理三」が登場)。もと資料番号100と一括。	1通	封筒、1枚
36		[作成者不明書簡]	[作成者不明]	多田駿	昭和13年9月18日	多田参謀次長と筆蹟の写真、御健康を祝す	墨書	葉書	作成者は盛岡・慈雨山荘主。もと資料番号100と一括。	1通	
37		Sandrelli 夫人書簡	Sandrelli (イタリア軍司令官)夫人	多田睦	昭和11年1月9日	着物を贈られたこと・親切な配慮への感謝、先日の負傷。原文と日本語訳の2枚から成る。	ペン		「多田夫人」宛。もと資料番号100と一括。	1通	封筒、1枚
38		デグリユエル書簡	デグリユエル(フランス軍聯隊長・大佐)	多田駿	1935(昭和10)年12月25日	御礼状。 日本語訳文とフランス語原文(計2枚)から成る	ペン		もと資料番号110と一括	1通	
39		デグリユエル夫人書簡	デグリユエル(フランス軍聯隊長)夫人	多田睦	昭和11年1月10日	着物贈呈に対する感謝。フランス語原文と日本語訳から成る	ペン		「多田夫人」宛。もと資料番号240と一括。	1通	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
40		ハンチエル夫人書簡	ハンチエル(フランス軍司令官)夫人	多田睦	昭和11年1月8日	御土産贈呈に対する感謝。フランス語原文と日本語訳から成る	ペン		「仏軍司令官夫人」・「多田夫人」と表記。もと資料番号240と一括。	1通	
41	1	Pelly 夫人書簡	Pelly(イギリス軍隊長・中佐)〔夫人〕	多田睦	昭和11年1月9日	着物贈呈への感謝・来週上海行の予定。英語原文と日本語訳から成る	ペン		「多田夫人」宛。もと資料番号240と一括。	1通	
41	2	Pelly 夫人書簡	Pelly(イギリス軍隊長)夫人	多田睦	1936(昭和11)年1月24日	着物贈呈への感謝。英語原文と日本語訳から成る	ペン		「多田夫人」宛。もと資料番号240と一括。	1通	
42		Mason 書簡	Mason, J. W. T.	多田駿	1940(昭和15)年3月24日	28日に東京帰還の予定、多田の高説への興味。英文(ニューヨークで作成)と日本語訳から成る	ペン			1通	封筒、2枚
43		Mason 夫人書簡	Mason, Edith H.	多田駿	1941(昭和16)年5月25日	主人死去に際しての弔電に対する感謝。英文(ニューヨークで作成)と日本語訳から成る	タイプ・ペン			1通	封筒、1枚
44		レナード夫人書簡	レナード(イギリス軍隊長)夫人	多田睦	昭和11年1月10日	着物贈呈への感謝・5月の日本旅行。英語原文と日本語訳から成る	ペン		もと資料番号240と一括	1通	
2. 手帳											
45		〔手帳 昭和2年〕	〔多田駿〕		昭和2年7月1日～8月25日	日記(7月の行動記録・8月の闘病)	鉛筆			1冊	
46		〔手帳 昭和4年〕	〔多田駿〕		昭和4年1月1日～7月9日	日記	鉛筆			1冊	
47		〔手帳 昭和5年〕	〔多田駿〕		昭和5年	日記(大連出張 他)	鉛筆			1冊	
48		〔手帳 昭和6年〕	〔多田駿〕		昭和6年1月1日～12月	日記(満洲・京阪)	鉛筆			1冊	
49		〔手帳 昭和7年〕	〔多田駿〕		昭和7年1月1日～12月	日記(京阪・満洲)	鉛筆		未使用手帳(昭和7年)冒頭に手書の漢詩あり	1冊	未使用手帳、1冊
50		〔手帳 昭和8年〕	〔多田駿〕		昭和8年1月1日～	日記(満洲)	鉛筆			1冊	
51		〔手帳 昭和9年〕	〔多田駿〕		昭和9年	日記(満洲・東京)	鉛筆			1冊	
52		〔手帳 昭和12年〕	〔多田駿〕		昭和12年	日毎のメモ書	鉛筆			1冊	
53		〔手帳 昭和13年〕	〔多田駿〕		昭和13年	日記(満洲・華北)	鉛筆			1冊	
54	1	〔手帳 昭和14年〕	〔多田駿〕		昭和14年	日記(満洲・華北)	鉛筆		メモ書あり	1冊	
54	2	〔手帳 昭和14年〕	〔多田駿〕		昭和14年	日記	鉛筆		巻頭部のみ筆記あり	1冊	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
55		[手帳 昭和15年]	[多田駿]		昭和15年	日記。華北各地へ出張 他	鉛筆			1冊	(1)東亜聯盟手帳(未使用)、1冊／ (2)未使用手帳(新聞切抜1枚挟)、1冊
56		[手帳 昭和16年]	[多田駿]		昭和16年	日記。北支方面軍期(中国各地へ出張等)・軍事参事官期から予備役編入までを記す	鉛筆			1冊	
57		[手帳 昭和17年]	[多田駿]		昭和17年	日記	鉛筆			1冊	名刺、1枚
58		[手帳 昭和20年]	[多田駿]		昭和20年	自身の信条を記した備忘録	鉛筆			1冊	
59		[手帳]	[多田駿]			佐々木到一(大連居住)の他福岡県久留米・静岡等の在住者の住所、中国語文(「梁鴻妻」の表記あり)	鉛筆			1冊	東亜聯盟手帳(未使用)、1冊
3. 任官前											
60		[多田平次宛福沢諭吉書簡について]				横浜で買入れた海岸防禦書大砲之部の翻訳と調達金送付。駿は大伯父である平次(砲術家、江川英龍弟子)の家を継承	墨書		「平次祖父」の表記あり	1通	多田平次宛福沢諭吉書簡写、1部
61		漁師になりなさい 時めく参謀次長少年時代の思ひ出 (『東京朝日新聞』宮城版記事)	朝日新聞社		昭和12年8月22日	多田が語る仙台・宮古在住時の思い出	印刷		戦史室返還分。一面。	1枚	
62		甘党の乱暴隊長 時めく参謀次長少年時代の思ひ出 (『東京朝日新聞』岩手版記事)	朝日新聞社		昭和12年8月24日	多田が語る宮古在住時の思い出	印刷		戦史室返還分	1枚	
63		独仏対決	[多田駿]			普仏戦争に関する自筆。1866年以降の状況	ペン			1冊	
4. 砲兵将校期											
64	1	欧州差遣報告	多田駿		大正14年5月1日	「仏国陸軍大学校ノ教育及戦術研究ニ関スル研究」。教育の目的・方法、教官、図上戦術、高等軍事研究所についての報告	印刷[カーボン]	陸軍野紙	砲兵中佐期。もと資料番号70と一括。	1綴	
64	2	多田砲兵中佐ニ与フル訓令			大正14年1月15日	「訓令」(欧州差遣に就いての心得)・「拝謁並賢所参拝ノ件達」(欧州よりの帰朝後)	タイプ・印刷[カーボン]	陸軍野紙	タイトルは封筒表記より。もと資料番号70と一括。	2点	封筒、1枚
64	3	旅券			大正13年6月19日	日本帝国海外旅券と出入国記録。英仏独伊米等行先を明記した旅券	印刷		タイトルは封筒表記より。もと資料番号70と一括。	2枚	封筒、1枚
65		砲兵必携			昭和4年2月6日	砲兵操典の縮刷版。徒歩教練・野戦砲兵(分隊・中隊・大隊教練)・戦闘原則・附録	印刷[活版]			1冊	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
66		日誌 昭和四年十一月ヨリ			昭和4年11月27日～ 5年2月14日	業務日誌。部隊(野砲4連隊) 業務(部下の来訪 他)、 ソ連・中国・満洲情勢	鉛筆			1冊	
67		昭和五年度教育ニ関スル指示				聯隊の教育企画・師団長訓示・ 教育主任召集の目的・聯隊年 度教育企画	ペン・鉛筆		タイトルは巻頭表 記より	1冊	
5. 満洲国											
68		満洲建国殉職公務人員記念録	慰霊委員会		大同2(昭和8)年12 月	慰霊祭写真・祭文(満洲国要人 が多)・忠魂録(殉職者一覧)が 主。他に鄭孝胥題字・慰霊祭場 図・殉職者肖像・霊位牌	印刷			1綴	
69		[満洲国皇帝即位関係書類]			[昭和9年3月1日]	「勅諭」・「謝表」(以上は日本語 版・中国語版)・「詔」(1枚)・「建 国殉難将兵救恤金下賜要領」	タイプ		もと資料番号70 と一括	6点	
70		春光”慶祝満洲帝国”に輝く(『満 洲日報』記事切抜)	満洲日報社		昭和9年3月1日	登極式場略図、満洲国・満鉄・ 関東軍幹部の言明、官制法令 制定	印刷			1枚	(1)封筒、1枚/(2) 資料一覧表、1枚
71		[天皇陛下よりの講話依頼]	鈴木貫太郎(侍従 長)	多田駿	昭和9年9月27日	天皇陛下が多田から「満洲国軍 ニ就テ」の講話を聴きたい	墨書		もと資料番号70 と一括	1枚	封筒、1枚
72		[電報]	カワヂモリマサ [他]	多田駿	昭和9(康德元)年3 月1日	満洲帝国の盛典に対する奉 祝。カワヂモリマサ・サトウミヨジ 他3名による電報	タイプ		3月1日は帝政開 始日	5通	満洲電信電話封 筒(大典用)、5枚
73		拝観者十七万 本庄将軍の感懐や いかに 胸間に燦然・功一級(『東 京朝日新聞』記事切抜)	朝日新聞社		昭和10年4月10日	朝香宮(鳩彦王)近衛師団長・ 日満武官等参加の観兵式。満 洲国留学生・記者等が拝観	印刷		満洲国皇帝訪日 時挙行	1枚	
6. 支那駐屯軍											
74	1	注目された陸軍異動 内命きのふ発 せられる(『満洲日報』記事切抜)	満洲日報社		昭和10年7月23日	「支那駐屯軍司令官に多田少 将」	印刷		もと資料番号70 と一括	1枚	
74	2	反日満機関の絶滅 軍政当局に要 求 多田司令官より通牒(『東京朝 日新聞』夕刊記事)	朝日新聞社		昭和10年10月30日	軍司令部声明、「川越総領事も 要求」	印刷		一面分。もと資料 番号70と一括。	1枚	
74	3	年頭の辞 支那駐屯軍司令官多田 駿(『京津日日新聞』記事)	京津日日新聞		昭和11年1月1日	多田の辞の他に川越茂天津総 領事・南次郎関東軍司令官・土 肥原賢二奉天特務機関長の年 頭挨拶記事あり	印刷		一面分。もと資料 番号70と一括。	1枚	
74	4	年頭の辞 支那駐屯軍司令官多田 駿(『附録 天津日報』記事)	天津日報		昭和11年1月1日	他に川越茂天津総領事・参事 会長の年頭挨拶記事あり	印刷		一面分。もと資料 番号70と一括。	1枚	
74	5	北支問題は失敗か 早急には断定 されぬ(新聞記事切抜)			昭和11年11月8日	座談会内容は他に「日満の生 産販路を海外に向けよ 礦山開 発は財閥の手で」	印刷		もと資料番号70 と一括	1枚	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
74	6	けふいとも壮厳に支那駐屯軍観兵式 多田軍司令官馬上稟稟しく閲兵受礼 拝観者は只感激に戦く (『京津日日新聞』記事)	京津日日新聞		昭和11年1月9日	他に「大沽事件に続き総領事館正式抗議」・中国冀察政權の動向・中国人商店の倒産数知れず	印刷		一面分。もと資料番号70と一括。	1枚	
74	7	北支の新春を飾る観兵式さけ挙行さる 多田軍司令官厳かに受礼 (夕刊『天津日報』記事)	天津日報		昭和11年1月9日	他に大沽事件について正式抗議・天津新市長への評論・中国側の動き・満洲国に対するアメリカの好感度	印刷		一面分。タイトル中の「さけ」は原資料表記通り。もと資料番号70と一括。	1枚	
75		[近衛師団参謀長通牒]	岡田実(近衛師団参謀長)	多田駿	昭和10年8月1日	「将校同相当官異動発令ノ件通牒」・「拝謁ノ件通牒」。支那駐屯軍赴任に関係	タイプ	陸軍用紙		2枚	封筒、1枚
76	1	満洲日日新聞	満洲日日新聞社		昭和10年8月18日	「多田司令官を迎へ関東軍の参謀会議」・廬山会議・満鉄改組問題・満ノ国境(紛争・ソ連人脱出・密輸壊滅)	印刷		5・6面欠。もと資料番号141と一括。	1部	
76	2	多田司令官入京 皇帝陛下に謁見、午餐を賜る (『満洲日日新聞』記事)	満洲日日新聞社		昭和10年8月18日	他に「松岡満鉄総裁と満支経済指標」(投稿記事)・満鉄社員倶楽部改築・大連港銀密輸	印刷		一面分。もと資料番号141と一括。	1枚	
76	3	多田新駐屯軍司令官 けふ晴れの着任 (『京津日日新聞』記事)	京津日日新聞		昭和10年8月19日	副題「宮島街上に於て我駐津部隊を閲兵 午前九時反日界碼頭着」。他に多田と関東軍の打合せ・「天津輸入組合への融資を要する」・日満郵便条約・北鉄譲渡による買収物資・汪兆銘慰留・胡漢民	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
76	4	懐しき北平に入った多田将軍 我らの軍司令官大歓迎裡に北平着 (『日刊新支那』記事)	新支那社		昭和10年8月24日	副題「前門駅前駐屯軍を檢閲 藤原会頭に邦人出迎への謝辞」。他に汪兆銘留任・軍事参議官会議(肅軍)・松岡総裁談・「支那政財界の欧米派と日本派」・「蒋介石氏独裁権の前途」	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
76	5	天津日報	天津日報		昭和10年10月8日	「各国軍司令官も参列 壮麗な官邸前の光景 日米英仏儀仗兵の儀礼に多田司令官堂々答礼す」・谷口副領事着任	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
76	6	軍の対支大綱方針 現地中央の意見一致 けふ細部的具体策を討議 大連四将会議第一日 (『満洲日日新聞』記事切抜)	満洲日日新聞社		昭和10年10月14日	第二次大連会議(多田・岡村・板垣・磯谷が参加)。他に満ノ国境問題・満洲国土地制度・「陝西共産軍の現勢」	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
76	7	対支策大綱に基く細部的具体策を討議 けふ大連会議第二日 (『満洲日日新聞』記事)	満洲日日新聞社		昭和10年10月15日	第二次大連会議。他に満ノ国境問題	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
76	8	多田中将 凱旋・所信を語る 宋政權、今や鶴的存在 民衆と共に邁進 肝要 増兵、密輸の誹謗爆撃 (『東京日日新聞』記事切抜)	東京日日新聞社		昭和11年6月2日	同一内容の他紙3枚・軍状奏上記事1枚を含む	印刷		もと資料番号141と一括	4枚	

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
76	9	北支漸次明朗 百の声明も効なし 要は断乎、所信の実行 帰朝の多 田中将語る (『河北新報』記事切 抜)	河北新報社		昭和11年6月3日	列車爆破事件・南京政府	印刷		もと資料番号141 と一括	1枚	
77		天津日報	天津日報		昭和10年8月20日	「多田新軍司令官本社訪問」・ 「北支那の工業概観」・灤州事 件・汪兆銘辞任問題	印刷			1部	
78		聖上御日課表			昭和10年9月1日	日課表(曜日別)・天皇皇后両 陛下御学事恒例御休日の一覧 (年間)	印刷[謄 写]		もと資料番号70 と一括	2枚	封筒、1枚
79		満洲国の発展と密接な北支工作 国論の帰着する点 国策を語る座談 会 7	小川郷太郎[他]		昭和11年1月9日	多田司令官の考え通りにばかり いないという山崎靖純に よる意見あり(多田声明関係)	印刷		座談会。新聞記 事切抜。もと資料 番号240と一括。	1枚	新聞記事「新春雑 詠」、2枚
80	1	上奏	多田駿		昭和11年6月4日	支那駐屯軍在職期の状況。華 北情勢・駐屯軍の様子	墨書	陸軍野 紙		1綴	封筒「上奏控」(も と資料番号80-1 ～2を封入)、1枚
80	2	上奏	多田駿		昭和11年5月	資料番号80-1と同内容	タイプ			1綴(同一 4部)	
80	3	聖旨	[宮内省]	[多田駿]		軍司令官としての職務を全うせ よ(聖旨)、身体を大切にして勤 務せよ(令旨)、軍司令官・将 校・傷病兵への下賜	墨書	宮内省 野紙	1枚は空白	2枚	
81		御挨拶	永見章乃		[昭和11年]	軍人家族の集いにおける挨拶。 主婦としての立場、司令官 (多田)夫人が来津を受けての 催し	印刷 [謄写]		永見俊徳が10年 12月に支那駐屯 軍参謀長着任。 もと資料番号110 と一括。	1綴	
82		[天津特別市新造警備船]	天津特別市公署 警察局特務科			天津市警察局水上分局の警備 船「駿龍丸」の構造・設備	タイプ			2枚	
83	1	言上	多田駿		[昭和11年5月カ]	支那駐屯軍の状況は概ね良 好、今回軍の改変を受けて	印刷[謄 写]		多田は陸軍中将	1綴(同一 2部)	封筒「言上 及状 況報告」(もと資料 番号83-1～2を封 入)、1枚
83	2	上奏	多田駿		昭和11年5月	支那駐屯軍在職期の状況。華 北政治情勢・人馬保育の説明 (概ね良好・小康状態)	タイプ			1綴	
83	3	上奏	多田駿		昭和12年4月	第11師団長としての上奏。軍紀 風紀・将校の能力・軍隊教育・ 動員防衛計画実施・地方官民 との関係 他	タイプ			1綴	
83	4	陸軍大臣へ報告	多田駿		[昭和11年5月カ]	華北政治情勢・軍の士気旺盛 (支那駐屯軍司令官期)	印刷[謄 写]		多田は陸軍中将	1綴	
83	5	奏上案			[昭和12年8月～13 年3月の間]	日中戦争の関係で本年の学校 主要行事が例年と異なる、教官 の精励、卒業者数、春仁王	墨書	陸軍大 学校野 紙	年月日は陸軍大 学校長在職期間 より	2枚	

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
83	6	訓示		多田駿	昭和10年8月19日	支那駐屯軍司令官を拝命、重要な華北にあって皇軍の真価を発揮するのは武人の本懐	タイプ	陸軍用紙		1枚	
84		[クリスマスカード]	Affleck (イギリス総領事)	多田駿	1935(昭和10)年12月23日	アフレック夫妻の挨拶	印刷			1枚	
85	1	[クリスマスカード]	Coldwell, Kenneth (アメリカ総領事)	多田駿	1935(昭和10)年12月21日		ペン			1部	(1)封筒、1枚(資料番号85-1用)／(2)封筒、1枚(もと資料番号85-1～18を封入)／(3)名札、1部
85	2	[クリスマスカード]	Zappi, Filippo (イタリア領事)	多田駿	[昭和10年12月]	多田が天津にいる時に送付してきたカード	ペン			1部	封筒、1枚
85	3	[サンドレリ司令官カード]	サンドレリ(中佐・イタリア軍司令官)	多田駿	[昭和10年12月]	支那駐屯軍司令官期にイタリアの中国駐屯軍司令官より受領したカード	印刷			1部	封筒、1枚
85	4	[クリスマスカード]	スナイエル(ベルギー総領事)	多田駿	[昭和10年12月]		印刷			1部	封筒、1枚
85	5	[クリスマスカード]	Chilton, W. B.	多田駿	民国24(昭和10)年12月20日	秦皇島のホテルで渡されたチルトンによるクリスマスカード	印刷・ペン			1部	封筒、1枚
85	6	[クリスマスカード]	Chesney, D. (イギリス駐在武官)	多田駿	[昭和10年12月]		印刷			1部	
85	7	[挨拶状]	デグリュエル(フランス軍聯隊長)	多田駿	1935(昭和10)年12月25日	フランス語で書かれた新年挨拶	ペン			1部	封筒、1枚
85	8	[クリスマスカード]	ハンチエル(大佐・フランス軍司令官)	多田駿	[昭和10年12月]		印刷			1部	封筒、1枚
85	9	[クリスマスカード]	Pelly (中佐・イギリス軍隊長)	多田駿	民国24(昭和10)年12月24日		印刷			1部	封筒、1枚
85	10	[クリスマスカード]	ベルツ(ドイツ総領事)	多田駿	[昭和10年12月]	クリスマスカード(多田は司令官)	印刷			1部	
85	11	[クリスマスカード]	ホップウッド(イギリス軍司令官)	多田駿	1935(昭和10)年12月23日		ペン			1部	封筒、1枚
85	12	[クリスマスカード]	Leaf (ユナイテッドプレス天津支局長)	多田駿	民国24(昭和10)年12月22日	挨拶状	印刷			1部	封筒、1枚
85	13	[年賀状]	Lynch, G. A. (大佐・第15歩兵隊)	多田駿	[昭和10年]12月21日	春節用カードに書かれた年賀状	印刷			1部	封筒、1枚
85	14	[クリスマスカード]	Tientsin Club	多田駿	民国24(昭和10)年12月24日	天津クラブ	印刷		英語	1部	封筒、1枚
85	15	[クリスマスカード]	レピンス(フランス領事)	多田駿	[昭和10年12月]		印刷			1部	封筒、1枚
85	16	[フランス司令官年賀状]	フランス軍司令官	多田駿	[昭和10年12月]	フランスの駐屯軍司令官より多田少将に宛てた年賀状	印刷・ペン			1部	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
85	17	[挨拶状]	フランス軍司令官	多田駿			ペン			1部	封筒、1枚
85	18	[イタリア軍将校一団カード]	イタリア軍将校一団	多田駿	1936(昭和11)年		印刷			1部	(1)封筒、1枚/(2)ランチェリ(イタリア軍副隊長)名刺、1枚
86		[クリスマスカード]	レナード(米軍大隊長・少佐)	多田駿	[昭和10年12月]		ペン		多田は天津在住	1部	封筒、1枚
7. 参謀次長											
87		[多田駿挨拶状]	[多田駿]		昭和12年8月19日	参謀次長兼陸軍大学校長着任の挨拶。裏面に備忘録(墨書。2枚は別文言)	印刷			2枚	
88	1	備忘録 [日中戦争]			[昭和12年]8月23日～10月4日	日付毎に筆記。華北・上海、陸相の速戦即決方針、終結後の対華北政権交渉の外交機関一任	鉛筆・墨書	陸軍野紙		1綴	
88	2	一月十五日ヲ期限トスル支那側ノ態度対策(案)			[昭和12年10月～13年1月の間]	トラウトマン工作に関係。中国側が今後採りうる対応(無回答・条約内容へ質疑・条件付直接交渉の応諾 他)に応じた方針	鉛筆	陸軍野紙	もと資料番号88-1筆記部分最終頁に挟む	3枚	
89	1	恰も沙河会戦の勝報 保定入城に満悦の三宅坂 (『東京朝日新聞』記事切抜)	朝日新聞社		昭和12年9月25日	多田の写真あり。華北戦局記事が紙面を占める	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
89	2	破顔一笑 多田参謀次長 (『読売新聞』記事切抜)	読売新聞社		昭和12年9月25日	副題「雨だと泥田になる保定衣類まで徴発する支那軍」	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
89	3	保定陥落に感あり 多田参謀次長の随想 (『東京日日新聞』記事切抜)	東京日日新聞社		昭和12年9月25日	保定陥落記事が紙面を占める	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
89	4	我帝国の対支基礎的観念 現華北情勢に直面して 多田軍司令官は語る (『京津日日新聞』記事切抜)			昭和12年9月25日	他に国民政府の対ソ提携・日中間無線電話・満ソ国境問題・満洲国皇帝の動向	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
90		伊太利使節団ヨリ寄贈ノ「カップ」写真	アウリッチ, ヴァチント(駐日イタリア大使)	多田駿	昭和12年11月6日	11月6日 日独伊防共協定記念にカップ(付属文書に写る)を贈呈する書状・昭和13年12月5日開催昼食会の献立	印刷			2枚	(1)写真、1枚/(2)封筒、1枚
91	1	陣中日誌	[多田駿]		[昭和12年]11月19日～[13年]11月16日	業務日誌。日中戦争(上海派遣軍・南京作成計画・難民救済)・報告内容(中国・満洲)・会議日程・精神修養の必要(賀陽宮)・会報	鉛筆		大本営参謀次長名義。戦史室から返還。	1綴	戦史室返還資料一覧、1部
91	2	[備忘録 中国問題]				九カ国条約が関連。中国側と英米等との直接交渉、英米の動き、第11条問題。伏見宮総長・外相・内相の発言	鉛筆			8枚	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
91	3	帝国遂に居地解決の方針を一変 穩忍の限度遂に超ゆ 断固国府膺 懲に決す 昨夜深更緊急会議決定 (『中外商業新報』記事切抜)	中外商業新報社		[昭和13年]8月15日	中国国民政府を断固膺懲する 声明を出す	印刷			1枚	
91	4	三日許大使宛			[昭和13年8月]	許世英中華民國駐日大使へ提 出した基本条件の内容・中国側 の遷延策・対中交渉打ち切り・ 15日の声明	鉛筆		タイトルは文頭表 記より	11枚	
91	5	[対中国交渉案]	[多田駿]			交渉打ち切りの他、ドイツを通じ た交渉の各案について記す	鉛筆	陸軍野 紙	トラウトマン工作	3枚	
92		[参内通知]	百武三郎(侍従 長)[他]	多田駿	昭和13年6月7日	11日午前10時の参内要請	墨書		巻紙	1枚	
93		[宮内省通知]	百武三郎(侍従 長)	多田駿	昭和13年6月17日	上半期手当を送付するので拝 受して頂きたい	印刷[カー ボン]・ 墨書			1枚	封筒、1枚
94		[内閣書記官通知]	内閣書記官	多田駿	昭和13年12月6日	12月10日に参内するよう要請	墨書		巻紙	1枚	封筒、1枚
95		[参内要請]	百武三郎(侍従 長)[他]	多田駿	昭和13年12月8日	賜物があるため10日参内のこと	墨書		巻紙	1枚	封筒、1枚
96		総長殿下御言葉	載仁親王(参謀総 長)	多田駿	昭和13年12月10日	前線へ異動する多田(参謀次 長)への感謝の言葉	墨書		もと資料番号215 と一括	1枚	(1)カード、1枚/ (2)封筒、1枚
8. 北支那方面軍											
97	1	新北支派遣軍最高指揮官多田駿中 将晴れの着任 (『東亜新報』記事)	東亜新報社		昭和14年9月19日	多田は9月18日着任。副題「建 設工作新段階へ 迎へた俊敏 智謀の名将」。他に日中戦争戦 況・ノモンハン事件・蒋介石批 判記事あり	印刷		北京で発行。一 面分。もと資料番 号98と一括。	1部	
97	2	けふの記念日に当りて 悠久に想を 致せ 現在の己れに執せず (『東 亜新報』記事切抜)	多田駿		昭和16年3月10日	第36回陸軍記念日。日露戦争 当時の多田、呉佩孚の勲功(袁 世凱政権期)	印刷		北京で発行。もと 資料番号98と一 括。	1枚	
97	3	おらが東北に歓声 颯爽と新大将二 人 事変記念日飾る快報 (『河北 新報』記事切抜)	河北新報社		昭和16年7月8日	多田・板垣征四郎の大將昇進 を祝う記事。他に北支那方面軍 司令官の引継・「迎送華北日軍 首脳」(中国語)あり	印刷		もと資料番号98 と一括。	4枚	
98		[スクラップブック 東亜新報]			昭和14年9月～16年 7月	『東亜新報』の多田北支那派遣 軍司令官関連記事を集成。人 望、発言(日中両国民提携・大 陸日本人向け談話)、兵・小学 校への慰問、前線視察、「迷悟 洞涓滴」1～93(多田の随想)、 中原作戦、離任	印刷			1冊	
99		軍司令官閣下航空記録一覧	[北支那方面軍]		昭和14年10月8日～	華北飛行の記録。地名(北京・ 包頭・南京・太原・開封等)・距 離・離着月日時間・航空時間・ 摘要(飛行目的等)。中原会戦 等を視察	ペン			1枚	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
100	1	密山炭田の開発に日満資本が提携一億円の新社設立			昭和15年2月28日	他に「鮎川陣営確立へ 退陣した河本理事長」あり	印刷		河本大作は満炭理事長。もと資料番号100-1～2は一括。	2枚	ホルダー、1部
100	2	[新聞記事切抜]			昭和13年10月27日・15年6月19日	「畏し・御陽焦けの御顔」・「畏し『萬民祝』を天覧・高村光太郎「式典の日に」	印刷		もと資料番号100-1～2は一括	3枚	
101		大行山地討匪行 6・7	清水(特派員)		昭和15年8月2日～3日	6(日本軍の奮闘)・7(農民の対日感謝)。他に「蘇北知事の建設縦横談」7・8	印刷		もと資料番号141と一括	2枚	
102		[新聞記事切抜 天皇陛下臨御 紀元二千六百年式典]			昭和15年11月11日～12日	天皇陛下一家の写真と関連記事	印刷		もと資料番号136と一括	8枚	
103		故北白川宮成久王殿下	[多田駿]		[昭和15年]	1点(多田筆、多田は王入校時の陸軍大学校校長)は成久王の駐蒙軍における精励ぶりを称える内容。もう1点は子供の手による王への追悼文	ペン		もと資料番号215と一括	2点	
104		[北白川宮永久王]	[多田駿]		[昭和15年3月以降]	永久王に対し陸大在学時の校長として御遺徳を偲ぶ	鉛筆		自筆(講演原稿か)	39枚	
105	1	祝多田司令官六十回誕辰	笠原幸雄	多田駿	昭和16年2月24日	華北での勇躍について詠んだ七言絶句漢文	墨書		皇紀2601年表記。笠原は北支那方面軍参謀長	1枚	
105	2	多田司令官閣下	笠原幸雄	多田駿	昭和16年3月	笠原の華北離任に際して詠んだ七言絶句漢文	墨書		皇紀2601年表記	1枚	
106		[大日本銃剣道振興会 書類一式]			昭和16年3月20日	「大日本銃剣道振興会趣意書」・「銃剣道修練の指針」・「大日本銃剣道振興会役員表」	印刷[活版]		年月日は役員表日付より	3点	多田宛振興会封筒、1枚
107		甲方参一電第五六七号	[北支那方面軍] 甲集団長	参謀次長	昭和16年6月27日	北支那方面軍から多田(軍司令官から日本国内に異動)への感謝を記した公電	印刷[謄写]			1枚	封筒、1枚
108	1	言上	多田駿		[昭和16年7月]	北支那方面軍司令官から内地への異動に際し傷病兵への御物下賜と療養充実を申上げる	墨書・タイプ	陸軍野紙	1綴は墨書による原文、他1枚はタイプによる写。もと資料番号108-1～5は一括。	2綴	封筒、1枚
108	2	北支那方面軍状況報告	北支那方面軍司令部		昭和16年7月	華北治安回復・建設工作の向上について報告。蔣系軍一掃、共産党軍討伐、日華軍民一体化による建設工作	タイプ		もと資料番号108-1～5は一括	1綴	
108	3	軍事参議院内規			昭和15年10月1日	会議・奉答(奉答案文例)・出張・給与・人事についての内規	タイプ		もと資料番号108-1～5は一括	1綴	
108	4	戦歴	多田駿		[昭和16年7月]	多田が北支那方面軍司令官(14年9月12日補任、18日北京着)として統率した各作戦とその期間・摘要を列挙	タイプ		多田は陸軍大将。もと資料番号108-1～5は一括。	1綴	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
108	5	上奏	多田駿		[昭和16年7月]	蒋系軍撃破、共産党覆滅の必要性、国防資源獲得・軍現地自活の進展、華北を日中合作模範地域へ	タイプ		多田の北支那方面軍司令官から内地への異動に際し作成。もと資料番号108-1～5は一括。	1綴	
109		北支那方面軍状況報告別冊	北支那方面軍司令部		昭和16年7月	要図(兵団配置・憲兵隊管区)・概況(敵情・治安・兵站・交通・通信・政務工作・兵器・經理・衛生・獣医業務)・中国側武装団体状況	タイプ		もと資料番号108と一括	1綴	
110	1	北支那方面軍司令官在職間司令部主要幹部人名表			[昭和16年]	昭和14年9月12日以降。参謀長・第1～4課長・高級副官・各部長を在職期間付で記す	ペン	陸軍野紙	もと資料番号110-1～5は一括	1枚	封筒、1枚
110	2	北支那方面軍司令官在職間隷下兵団長人名表			[昭和16年]	昭和14年9月12日以降。軍司令官・各師団長・騎兵集団長・各独立混成旅団長・憲兵司令官・野戦鉄道司令官について在職期間付で記す	ペン	陸軍野紙	もと資料番号110-1～5は一括	1枚	
110	3	中原会戦関係兵団主要幹部人名表			[昭和16年]	北支那方面軍司令部(司令官多田)、第一軍・方面軍直轄兵団の各師団、協力部隊	ペン	陸軍野紙	もと資料番号110-1～5は一括	2枚	
110	4	兵団長留守宅及担当者名簿			[昭和16年]	部隊・団長名・留守宅及氏名を列記した表	ペン	陸軍用紙	もと資料番号110-1～5は一括	5枚	
110	5	[名刺]	安藤栄蔵[他]				印刷		もと資料番号110-1～5は一括	11枚	
111		中原会出席者名簿			昭和17年5月14日	中原会戦1周年。出席者名簿・在京者調・招待状・北支会名簿	鉛筆・ペン・タイプ			5枚	
112		[御下賜品目録]	[宮内省]	多田駿		支那駐屯軍司令官・元北支那方面軍司令官の身分で葉巻煙草・清酒を賜う	墨書			2枚	
113		[金封]	[宮内省]	多田駿			墨書			11枚	名札、1枚
114		[御下賜品目録]	[宮内省]	多田駿		第三軍司令官・北支那方面軍司令官・元軍事参議官の身分で葉巻煙草・清酒を賜う	墨書			4枚	金封、1枚
9. 予備役編入後											
115		多田大将閣下赴任ニ依ル荷物員数明細表	磯部準三(陸軍属)	多田駿	昭和16年11月27日	多田出発時の荷物・支払について	墨書			1点	送付状、2枚
116		[参内要請]	松平慶民(式部長官)	多田駿	昭和17年4月11日	勲章御親授のため13日参内のこと	印刷[カーボン]・墨書	宮内省野紙		1枚	封筒、1枚
117		皇国歌百首			昭和17年5月20日	武士道歌五十首(天皇御製・尊王・大和魂)・大東亜戦争歌五十首	印刷[活版]			1綴	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
118		[満洲国建国十周年式典 書類一式]	張景恵(国務総理大臣)	多田駿	康德9(昭和17)年8月1日	建国10周年式典(皇帝臨席)。案内状・「建国十周年式典・建国十周年祝賀会 次第及参加者心得」・追伸	印刷			4枚	
119		多田閣下講演要旨	多田駿		昭和17年11月30日	仙台幼年学校生徒に対する講演録。幼年学校出身者としての心構え・漢文教官への回想	印刷 [謄写]			1綴	備忘録(多田の思想関係)、1部
120		陸軍大学校歴史ノ概要	陸軍大学校		昭和18年4月12日	大学校年表(校長・沿革)、大学校出身戦没者名簿、入校者・戦没者・現役者人員調(表)	印刷 [活版]		軍事秘密	1綴	
121		[出入証]			昭和18年6月25日・20年2月11日	「房総第三区出入証」(漁労の為)・千葉陸軍兵器補給廠岩井分廠への出入証	ペン・墨書			2枚	
122		日記 [昭和19～20年]	[多田駿]		昭和19年1月1日～20年6月7日	安房館山在住時の日記。陸軍軍人・相馬の名あり	墨書		戦史室返還分	1冊	
123		止樂園出入名簿			昭和19年4月8日～30日	来客名簿	ペン			1冊	未使用罫紙、1部
124		毎日新聞	毎日新聞社		昭和20年5月21日	閑院宮薨去記事あり。他に沖縄戦・食料問題(橋孝三郎執筆文・石黒農相談)・B29空襲・有馬正文中将特攻・アルミ貨回収	印刷			1枚	
125	1	故元帥陸軍大将大勲位功一級載仁親王葬儀次第			昭和20年5月22日～7月8日	日程・葬儀進行順序	印刷[活版]		年月日は実施日。もと資料番号215と一括。	1冊	(1)封筒「閑院宮国葬関係」、1枚／(2)空封筒、1枚
125	2	[電報]	[作成者不明]	多田駿	昭和20年5月22日	春仁王思召により多田を閑院宮(載仁親王)委員長に奏請	鉛筆	電報用紙	もと資料番号215と一括。	1通	
125	3	賜誄ノ儀			昭和20年5月27日	載仁親王葬礼に際しての詞	印刷[カーボン]	内閣罫紙	年月日は実施日。もと資料番号215と一括。	1部	
125	4	靈代安置ノ儀祭詞			昭和20年5月27日	載仁親王葬礼に際しての詞	印刷[カーボン]	内閣罫紙	年月日は実施日。もと資料番号215と一括。	1部	
125	5	五月二十九日斂葬後一日権舎ノ儀細目			昭和20年5月29日	日程・葬儀進行順序	印刷[活版]		年月日は実施日。もと資料番号215と一括。	1部	
125	6	葬場祭詞			昭和20年6月18日	載仁親王葬礼に際しての詞	印刷[カーボン(手書)]	内閣罫紙	年月日は実施日。もと資料番号215と一括。	1部	
125	7	斂葬ノ儀 葬場ノ儀			昭和20年6月18日	進行順序	印刷[謄写]		年月日は実施日。もと資料番号215と一括。	2枚	
125	8	斂葬後一日墓所祭祭詞			昭和20年6月19日	載仁親王葬礼に際しての詞	印刷[カーボン(手書)]	内閣罫紙	年月日は実施日。もと資料番号215と一括。	1部	
125	9	墓所五十日祭々詞			昭和20年7月8日	載仁親王五十日祭における祭詞(神式)	印刷[カーボン(手書)]	宮内省罫紙	もと資料番号215と一括。	1綴	「七月八日墓所五十日祭ノ儀次第細目」、1枚

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
125	10	墓所百日祭々詞			昭和20年8月27日	載仁親王百日祭における祭詞(神式)	印刷[カーボン(手書)]		もと資料番号215と一括	1綴	
125	11	権舎百日祭ノ儀			昭和20年8月27日	進行順序	印刷[謄写]		年月日は実施日。もと資料番号215と一括。	1綴	
126		[電報]	佐藤イサオ	多田駿	昭和21年1月19日		鉛筆	電報用紙	もと資料番号136と一括	1通	
127		朝日新聞	朝日新聞社		昭和22年5月3日	新憲法実施に関する記事。「天皇陛下・記者と初の会見」他	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	
128		毎日新聞	毎日新聞社		昭和22年7月5日・11月10日	経済実相報告書・食糧不足	印刷		もと資料番号141と一括	2枚	
129		[閑院春仁挨拶状]	閑院春仁		昭和22年10月14日	作成者(皇籍離脱以前の閑院宮春仁王)が会社社長に就任にあたっての挨拶	印刷		宛先無表記。もと資料番号100と一括。	1枚	封筒、1枚(尾形健一宛多田書簡)
130		[仙台育英会通知]	仙台育英会	多田駿	昭和23年10月18日	会合開催案内、「第二十八回事業報告書」・「財団法人仙台育英会寄附行為改正案」	印刷[謄写]		年月日は封筒消印日。もと資料番号100と一括。	1部	(1)封筒、1枚／(2)委任状、1部
131		[止楽園]				多田の館山住居に関する記述。住居の購入、土地の歴史、家屋建築の経過 他。多田没後に関する記述もあり	墨書			1綴	
10. 極東国際軍事裁判											
132		診断書		[多田駿]	昭和20年12月10日～21年1月5日	「昭和二十年十二月十日頃テノ状況」・「出頭延期療養継続ノ件願」他。病状進行に関して	ペン		タイトルは封筒より。もと資料番号100と一括。	3点	封筒、1枚
133		召喚状	Walbridge, V. (Col. C.A.C. General Secretary)	多田駿	昭和21(1946)年7月5日	日本語・英語の2通あり。極東国際軍事裁判。12日に裁判所証人室へ出頭するよう要請(検察側)。多田のサインあり	タイプ		多田は館山在住	2枚	
134		述所懐	[多田駿]			戦犯容疑者指名を受けて多田自身が不該当であることを記述した備忘録	鉛筆		5枚は未使用。もと資料番号100と一括。	18枚	
135		履歴				占領軍による質問1点と多田側による答1点	ペン		もと資料番号100と一括	2部	
136	1	Kakihana (OCLD) P.3,340-3,427 Wednesday 7 August 1946			1946(昭和21)年8月7日	極東国際軍事裁判の英語記録。盧溝橋事件・多田の証言(pp.3375～、第二次上海事変・漢口)。	鉛筆			1綴	ホルダー(もと資料番号136-1～8を挟む)、1部
136	2	新聞記事抄			昭和20年12月20日	新聞記事切抜。田中隆吉「敗北の序幕 開戦前後の真相」・「三国同盟について 故近衛公の覚書」・「十七日、初の軍法会議 俘虜虐待の三百名を横浜で」他	印刷		年月日は表紙より	1綴	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
136	3	多田駿手記	多田駿		昭和21年1月5日	多田の略歴・対中構想。「支那満洲関係ノ職務」・「天津軍司令官時代」他	タイプ			1綴	
136	4	差入禁止品				「差入禁止品」・「入所者ヨリノ通信ニ依ル情報」・「巢鴨収容所携帯禁制品」2枚 他	タイプ			7枚	
136	5	メーソン夫人ヨリ多田へ宛テタル書簡 訳文				主人(北京で共に食事)死去時の弔電に対する御礼状	タイプ			1枚	
136	6	敗北の序幕 開戦前後の真相 (『東京新聞』記事切抜)	田中隆吉		昭和20年12月18日	「軍の強硬政治関与 遂に日本を滅ぼす 独逸依存の必勝信念」。他にエリオット少佐の論、日本の絞首刑	印刷			1枚	
136	7	秘められた支那事変の経緯 (『日本産業経済』記事切抜)				「故近衛公の談話筆記全文」	印刷			1枚	
136	8	帝国と更正新支那の国交調整方針 確定す 御前会議で原案可決 (『東京朝日新聞』夕刊記事切抜)			昭和13年12月1日	多田参謀次長の写真あり	印刷			1枚	
137		[第一復員省通知]	第一復員省法務局	多田駿	昭和21年2月27日	弁護士・世話人(裁判準備にあたり)・証人についての質問状	印刷[謄写]			1枚	封筒、1枚
138	1	[多田駿自記]	[多田駿]			自身の職務・中国人へとるべき態度。「支那満洲関係ノ職務」(青木・坂西両中将)・「天津軍司令官時代」(対中和平呼びかけ)・「参謀次長時代」・「北支方面軍司令官時代」	ペン	満洲国政府原稿用紙	戦史室返還分	1綴	
138	2	多田駿自記				性格・思想・「支那満洲関係職務」・参謀次長時代 他	鉛筆	満洲国政府原稿用紙	米軍提出用の草稿	1部	自記に関する注意書、1部
138	3	[多田駿自記]	[多田駿]			思想・「支那満洲関係ノ職務」・「天津軍司令官時代」他。メーソン・同夫人書簡の訳文(資料番号42・43と同内容)あり	印刷[カーボン(手書)]		自筆	1部	
139		Private Paper of Shun Tada	多田駿		4月17日	多田駿自記の英語版。“My Thought”, “My Duties concerning China and Manchuria” 他	タイプ			1綴	
140		A級戦犯(容疑)十九名釈放 総司令部発表 B、C級にも該当せず (『毎日新聞』記事)	毎日新聞社		昭和23年12月25日	他に七戦犯処刑前の様子	印刷		一面分。もと資料番号100と一括。	1枚	
141	1	河邊正三氏獄中作	河邊正三			獄中で詠んだ漢詩。「第一夜」・「丙戌年頭」他	墨書		極東国際軍事裁判期か。もと資料番号141-1～2は一括。	5枚	(1)封筒「思ひ出・新聞記事 昭和十年～十二年」、1枚 / (2)封筒「御写真」、1枚

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
141	2	冬より春にかけて				獄中で詠んだ和歌。他に春・夏・秋の歌あり	墨書		極東国際軍事裁判期か。もと資料番号141-1～2は一括。	7枚	
142	1	[連絡調整中央事務局第三部長通知]	広瀬(連絡調整中央事務局第三部長)		昭和24年1月4日	連合国総司令部覚書による多田封鎖財産解除の指令	タイプ	連絡調整中央事務局用紙	多田の留守担当者宛。もと資料番号100と一括。	1枚	封筒、1枚
142	2	特定財産管理解除の通知について	大蔵省管理局長	多田睦	昭和24年1月12日		タイプ	大蔵省用紙	もと資料番号100と一括	2枚	封筒、1枚
142	3	覚書該当者としての指定の解除に関する件	内閣総理大臣	多田駿	昭和27年3月4日	昭和22年勅令第一号に基づく覚書該当者指定の解除	タイプ		もと資料番号100と一括	1枚	封筒、1枚
143		解除申請書	多田睦	内閣総理大臣	昭和27年1月	昭和26年法律第268号に基づく覚書該当者指定解除の申請書。理由書・駿の軍歴あり	印刷[カーボン]			1綴	
11. 覚書											
144		[備忘録]	[多田駿]		昭和14年4月	備忘録(和歌・思想的なこと)、住所録(相馬愛蔵等)	鉛筆		従軍手帳。年月日は手帳発行日より。	1冊	(1)新聞記事切抜、1枚/(2)王季章(冀南道道尹)漢詩、1枚
145		対支基礎的観念	[多田駿]		昭和15年1月	公明正大の必要性、誤れる優越感を捨てる、国民党部に対する認識、赤化運動	印刷[活版]		年月日は出版日より。原文は10年9月作成。	1冊(同一2部)	
146		迷悟洞涓滴	多田駿		昭和15年8月6日～12月11日	武運長久・資源節約・老北京人・新体制と新秩序・中国通・敵情判断・干渉と親切等に関する多田の思想	印刷[活版]		年月日は北京東亜新報夕刊の掲載日より。「迷悟洞」は多田の筆名。	1冊	備忘録、1枚(多田子息による)
147		多田駿遺稿			昭和55年9月30日	思想・「支那満洲関係ノ職務」・「天津軍司令官時代」他	印刷[活版]		21年1月5日(巢鴨入所予定日直前)附手記	1冊	
148		留魂歌抄	皐月学園			吉田松陰・久坂玄瑞・三条実美・乃木希典等が詠んだ和歌	印刷[カーボン]			1部	
149	1	碧巖録第四十則	植原馬祖	多田駿	14日	仏教関係。鳩摩羅什の弟子による言葉、自作の和歌	墨書		もと資料番号100と一括	3枚	
149	2	[漢文]				諫言すること・人を容れることの大切さ	墨書		もと資料番号100と一括	1枚	
149	3	運ノ習性	[多田駿]			「多田駿」という姓名に関する運	墨書		もと資料番号100と一括	4枚	備忘録、1枚
149	4	[法華経について]				「法華経の成立年代につき大乘思想との関係を考ふ」・「法華経の内容より大乘思想の考察」	墨書		もと資料番号100と一括	1綴	
150		「祖師の精神に還れ これが宗教改革の第一条件だ」(新聞記事切抜)	亀井勝一郎		[昭和15年]	奈良の上宮太子・親鸞・内村鑑三の三師に還ることが条件。4月の宗教団体法発動に関連	印刷		もと資料番号141と一括	1枚	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
12. 諸行事											
151		〔午餐会招待状〕	一木喜徳郎(宮内大臣)	多田駿	昭和3年11月1日	16日伯太で開催予定	印刷			1枚	
152		〔午餐会招待状〕	湯浅倉平(宮内大臣)	多田駿	昭和8年10月5日	陸軍大演習終了後の27日に開催予定	印刷			1枚	
153		〔観菊会等招待状一式〕			昭和8年11月1日	天皇陛下主催観菊会(招待状・「正門参入者自動車置場図」・入苑証・当日の車貼付票)・参謀総長載仁親王晩餐会・満洲国執政府宴会献立	印刷			6点	(1)封筒、1枚／(2)写真、1枚
154	1	〔午餐会招待状〕	沈瑞麟(宮内府大臣)	多田駿	康德元(昭和9)年3月1日	3月2日満洲国宮内府主催の昼食会	印刷	満洲国カード	多田は軍政部最高顧問	1枚	(1)封筒、1枚／(2)多田宛即位事務準備委員会封筒、1枚
154	2	康德元年三月二日			康德元(昭和9)年3月2日	満洲国主催の宴会で出される菜目(食事献立)・酒類	印刷			1枚	名刺、1枚
155		〔満洲国・関東軍主催晩餐会 書類一式〕			昭和9年6月1日～12日	秩父宮御台臨で開かれる各宴会(張景恵軍政部大臣・菱刈関東軍司令官が主催、於新京)の招待状・献立	印刷			8枚	
156		〔献立〕			昭和9年8月20日・10年10月18日	9年のフランス語献立、10年の佐枝・河内両家披露宴の献立	印刷		もと資料番号110と一括	2点	封筒、2枚
157		〔宴会献立・招待状〕		多田駿	昭和9年9月12日～10年5月3日	昭和9年9月12日晩餐・10年5月3日午餐の献立と10(康德2)年4月9日晩餐の招待状・献立	印刷・墨書			4枚	封筒、1枚
158		〔献立〕			1935(昭和10)年10月10日	天津の公館で行う多田司令官夫妻主催晩餐会の献立。出席者の署名あり	印刷・鉛筆		年月日は開催日より	2枚	
159		〔晩餐会招待状〕	Sandrelli, Signora P. (イタリア軍司令官)	多田駿	[昭和11年]1月14日	サンドレリ司令官夫妻主催のもと司令官官舎で開催	印刷		年月日は開催日(火曜)より。多田は少将。	1枚	日本語説明書、1枚
160		〔午餐会招待状〕	デグリユエル(フランス軍聯隊長)	多田駿	昭和11年1月25日	1月25日昼開催。フランス語本文と日本語説明書から成る	印刷・ペン		年月日は開催日より。もと資料番号240と一括。	1枚	
161		日本軍司令官陸軍中将多田駿閣下送別晩餐会	北支那駐屯列国司令官		昭和11年5月12日	献立一覧と参加者の署名	印刷・ペン		もと資料番号100と一括	1枚	
162		〔午餐会関係書類〕		多田駿	昭和11年6月1日～12年4月5日	招待状・献立・名札・「伊東・多田両中将凱旋行事予定」(6月4日)	印刷[他]			1部	封筒、1枚
163		〔招待状〕	松平恒雄(宮内大臣)		昭和11年9月20日	陸軍大演習終了後に食事を賜う(10月6日、於 北海道帝国大学構内)	印刷			1枚	封筒、1枚
164		〔招待状・献立〕	中島鉄蔵(第一特命検閲使属員)	多田駿	昭和12年6月2日	6月15日第一特命検閲使鳩彦王を交えた善通寺偕行社午餐会の案内状・献立	印刷			2枚	封筒、1枚

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
165	1	晩餐 昭和十二年九月十四日			昭和12年9月14日	献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	
165	2	午餐 昭和十二年十月二十八日			昭和12年10月28日	献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	名札、1部
165	3	晩餐 昭和十二年十一月二十二日			昭和12年11月22日	献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	
165	4	午餐 昭和十三年六月十三日			昭和13年6月13日	献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	
166		満洲帝国張総理大臣閣下歓迎晩餐			昭和12年11月12日	献立。陸軍大臣官邸で開催される張景恵総理歓迎会	印刷		年月日は開催日より	1枚	
167		伊太利大使・独逸大使 招待晩餐 献立	杉山元(陸軍大臣)		昭和12年11月19日	イタリアの防共協定参加に絡む晩餐会	印刷		年月日は開催日より	1枚	名札、1部
168		[招宴書類一式]			昭和12年11月23日 ～13年5月4日	12年11月23日・13年1月31日・同5月4日に開催される招宴の献立、多田駿名札	印刷			1部	
169	1	防共協定記念祝賀会			昭和12年11月25日	日独伊防共協定記念祝賀会(於東京会館)。献立・奏楽(日独伊三国の音楽演奏)	印刷		年月日は開催日より	1枚	
169	2	Deutsche Botschaft			1937(昭和12)年11月25日	献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	(1)名刺、2枚(多田・尾崎正文) / (2)ドイツ語名刺、1枚
170		Colozione			1937(昭和12)年11月29日	朝食会献立。イタリア側主催	印刷		年月日は開催日より	1枚	
171		日・独・伊三国間防共取極成立祝賀午餐			[昭和12年11月]	午餐の献立	印刷			1枚	
172		[招待状]	小山松寿(衆議院議長)[他]	多田駿	昭和13年2月1日	11日に開催される憲法発布五十年祝賀会への招待	印刷			1枚	
173		午餐 昭和十三年三月十八日	松平恒雄(宮内大臣)	多田駿	昭和13年3月16日	招待状・献立(タイトルの命名元)・名札	印刷		作成16日、開催18日	3点	封筒、1枚
174		[午餐会招待状]		多田駿	康德5(昭和13)年3月21日	献立・案内・名札・注意書	印刷		年月日は開催日より	1部	封筒、1枚
175		[晩餐会招待状]	張景恵	多田駿	[昭和13年]3月28日	総理官邸で午後6時半開催予定	印刷		多田は参謀次長。年月日は開催日より。	1枚	封筒、1枚
176		[招待状]	松平恒雄(宮内大臣)		昭和13年4月2日		印刷			1枚	封筒、1枚
177	1	[晩餐会関係]	谷口利三郎(閑院宮附宮内事務官)	多田駿	昭和13年4月4日	参謀総長載仁親王主催晩餐会(4月5日)の招待状・献立・名札・注意書	印刷・墨書		もと資料番号215と一括	4点	封筒、1枚
177	2	午餐 昭和十三年四月五日	[宮内省]		昭和13年4月5日	献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	
178		Pranzo			1938(昭和13)年4月21日	昼食会献立。イタリア側主催	印刷		年月日は開催日より	1枚	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
179		[招待状]	松平恒雄(宮内大臣)	多田駿	昭和13年5月11日	12日食事会への招待状	印刷			1枚	封筒、1枚
180		[招待状]	谷口利三郎(閑院宮附宮内事務官)	多田駿	昭和13年6月4日	参謀総長載仁親王主催晩餐会(6月5日)の招待状	印刷		もと資料番号215と一括	1枚	封筒、1枚
181		[献立]			昭和13年6月9日	晩餐会の献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	名札、1部
182	1	[招待状]	松平恒雄(宮内大臣)	多田駿	昭和13年6月11日	来13日御陪食への招待	印刷			1枚	封筒、1枚
182	2	献立			昭和13年6月13日	晩餐会の献立。陸軍大臣官舎で開催	印刷		年月日は開催日より	1枚	名札(「多田次長閣下」)、1枚
183		午餐 昭和十三年十二月八日			昭和13年12月8日	献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	
184		晩餐 昭和十三年十二月九日			昭和13年12月9日	献立	印刷		年月日は開催日より	1枚	
185		午餐 昭和十六年九月十九日	松平恒雄(宮内大臣)	多田駿	昭和16年9月17日	案内状・献立(タイトルの命名元)・名札	印刷・墨書		17日作成、19日開催	3点	封筒、1枚
13. 辞令等											
186		[辞令]	桂太郎(内閣総理大臣)	多田駿	明治37年3月18日	任陸軍砲兵少尉	印刷			1枚	
187		[位記]	田中光顕(宮内大臣)	多田駿	明治37年5月17日	叙正八位	印刷			1枚	
188		[位記]	田中光顕(宮内大臣)	多田駿	明治38年8月18日	叙従七位	印刷			1枚	
189		[辞令]	陸軍省	多田駿	明治38年12月22日	陸軍士官学校生徒隊付を免ず	墨書	陸軍省 罫紙		1枚	
190	1	[勲記]	大給恒(賞勲局総裁)	多田駿	明治39年4月1日	日露戦争の功により勲六等任命・金下賜	印刷			1枚	
190	2	日本帝国明治三十七八年従軍記章之證	横田香苗(賞勲局書記官)[他]	多田駿	明治39年4月1日	日露戦争従軍記章授与	印刷			1枚	「明治三十七年従軍記章ヲ受ケタル者届出心得」、1枚
191		[辞令]	陸軍省	多田駿	明治40年9月17日	補野戦砲兵第18聯隊付	墨書	陸軍省 罫紙		1枚	
192		卒業証書	藤井茂太(陸軍砲工学校校長)	多田駿	明治41年12月19日	砲工学校普通科課程卒業証書	印刷		もと資料番号70と一括	1枚	
193		[辞令]	陸軍	多田駿	明治42年10月12日	賜一等給	墨書			1枚	
194		[卒業証書]	大井菊太郎(陸軍大学校長)	多田駿	大正2年11月26日	陸軍大学校課程卒業と徽章授与	印刷			1枚	
195	1	大正三四年従軍記章之證	正親町実正(賞勲局総裁)	多田駿	大正4年11月7日		印刷			1枚	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
195	2	〔勲記〕	正親町実正(賞勲局総裁)	多田駿	大正4年11月7日	大正三四年戦役の功により勲四等を授ける	印刷			1枚	
196		〔辞令〕	原敬(内閣総理大臣)	多田駿	大正8年12月1日	任陸軍砲兵大佐	印刷			1枚	
197		戦捷記章之證	児玉秀雄(賞勲局総裁)	多田駿	大正8年12月15日		印刷・墨書			1枚	「記章ヲ賜ハリタル者届出心得」、1枚
198		〔辞令〕	参謀本部	多田駿	大正9年2月24日	大正10年陸軍大学校学生候補者試験委員	墨書	陸軍省 罫紙		1枚	
199	1	大正三年乃至九年戦役従軍記章之證	児玉秀雄(賞勲局総裁)	多田駿	大正9年11月1日		印刷			1枚	
199	2	〔功労金授与〕	児玉秀雄(賞勲局総裁)	多田駿	大正9年11月1日	大正4年乃至9年戦役の功による金の下賜	印刷			1枚	
200		〔位記〕	中村雄次郎(宮内大臣)	多田駿	大正9年11月30日	叙正六位	印刷			1枚	
201		大日本帝国外国勲章佩用免許証	横田郷助(賞勲局書記官)	多田駿	大正10年6月3日	中華民国政府より贈与された三等嘉禾章を受領・佩用することへの允許	印刷			1枚	
202		〔辞令〕	加藤友三郎(内閣総理大臣)	多田駿	大正12年8月6日	任陸軍砲兵中佐	印刷			1枚	
203		〔位記〕	一木喜徳郎(宮内大臣)	多田駿	大正14年12月28日	叙従五位	墨書			1枚	
204		〔辞令〕	田中義一(内閣総理大臣)	多田駿	昭和2年7月26日	任陸軍砲兵大佐	印刷			1枚	封筒、1枚
205		〔囑託状〕	載仁親王(帝国在郷軍人会総裁)	多田駿	昭和3年9月1日	在郷軍人会堺支部顧問囑託状	印刷			1枚	
206		大礼記念章之證	天岡直嘉(賞勲局総裁)	多田駿	昭和3年11月16日		印刷			1枚	
207		〔位記〕	一木喜徳郎(宮内大臣)	多田駿	昭和6年2月2日	叙正五位	印刷			1枚	
208		特別会員	載仁親王(帝国在郷軍人会総裁)	多田駿	昭和6年4月21日	帝国在郷軍人会第16師管聯合支部長囑託。付属資料は同支部特別会員推薦状	印刷			1枚	「推薦状」、1枚
209		〔辞令〕	内閣	多田駿	昭和6年6月4日	都市計画京都地方委員会委員の仰付。送付状の表題は「委員辞令伝達ノ件」	印刷			1枚	送付状、1部
210		〔辞令〕	斎藤実(内閣総理大臣)	多田駿	昭和7年8月8日	任陸軍少将	印刷			1枚	封筒、1枚
211	1	〔勲記〕	下条康麿(賞勲局総裁)	多田駿	昭和9年4月29日	昭和6年乃至9年事変の勲功により旭日重光章と金を授ける	印刷			1枚	
211	2	〔従軍記章授与〕	伊手衡(賞勲局書記官)	多田駿	昭和9年4月29日	昭和6年乃至9年事変従軍記章	印刷			1枚	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
212		[叙位状]	湯浅倉平(宮内大臣)	多田駿	昭和10年3月2日	従四位に叙す	印刷			1枚	
213		皇帝訪日記念章証書	張景恵(国務総理大臣)・藤山一雄(恩賞局長)	多田駿	康德2(昭和10)年9月21日	満洲国皇帝訪日記念	印刷			1枚	
214		[辞令]	広田弘毅(内閣総理大臣)	多田駿	昭和11年4月28日・5月1日	任陸軍中将・補第十一師団長	印刷			2枚	封筒、1枚
215		[辞令]	近衛文麿(内閣総理大臣)	多田駿	昭和13年12月10日	補第三軍司令官	印刷			1点	封筒、3枚
216		正四位叙位	松平恒雄(宮内大臣)	多田駿	昭和13年12月28日	位記	印刷		タイトルは封筒表記より	1枚	封筒、1枚
217		[被免状]	宮内省	多田駿	昭和14年3月7日	宮内省御用掛を免す	印刷			1枚	封筒、1枚
218	1	[推薦状 日本赤十字社]	載仁親王(日本赤十字社総裁)			赤十字社特別会員への推薦状	印刷・墨書			1枚	(1)日本赤十字社用紙、1枚/(2)賞状用筒、1本
218	2	[章贈与 日本赤十字社]	載仁親王(日本赤十字社総裁)		昭和14年4月16日	裁可を経て多田に有功章を贈与	印刷・墨書		もと資料番号218-1付属資料(2)に保存	1枚	
219		[辞令]	阿部信行(内閣総理大臣)	多田駿	昭和14年9月12日	補北支那方面軍司令官	印刷			1枚	封筒、1枚
220		支那事変従軍記章之證	下条康磨(賞勲局総裁)	多田駿	昭和15年4月29日	従軍記章授与、功二級金鷄勲章の授与	印刷			2枚	封筒、1枚
221		[辞令]	近衛文麿(内閣総理大臣)	多田駿	昭和16年7月7日	任陸軍大将・補軍事参議官	印刷			2枚	封筒、1枚
222		[位記]	松平恒雄(宮内大臣)	多田駿	昭和16年8月1日	叙従三位	印刷		安田は軍事参議官(多田)副官・少佐・砲兵監部所属	1枚	(1)「紀元二千六百年祝典記念章之證」/(2)紙、1枚/(3)安田清宛封筒、1枚
223		[位記]	宮内省	多田駿	昭和16年10月16日	位一級昇進・叙正三位	印刷			2枚	封筒、1枚
14. 追憶録											
224	1	読売新聞	読売新聞社		昭和26年11月23日	自動車の料亭横づけ(多田による星印自動車の横づけ禁止と関連)	印刷		多田進(駿次男)が郵送。もと資料番号100と一括。	1部	封筒、1枚
224	2	[作成者不明電報]	[作成者不明]	多田睦	昭和25年1月19日	キヨン様の文を見た	印刷[カーボン]	電報用紙	作成者は官古在任。もと資料番号100と一括。	1通	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
225		旋風惨雨二十年 日華事変裏面史 1・3～9 (『夕刊フクニチ』記事切抜)	浅原健三		昭和27年1月1日～10日	対中和平の密命(昭和19年)、盧溝橋事件(近衛)、東条・石原の対立(浅原逮捕)	印刷		戦史室返還分	8枚	
226		仙台陸軍幼年学校 創立六十周年 記念 第一期生回想録			昭和33年	設立と第一期生、主要行事に関する感想、教育訓練、学校教官・在校生に関する思い出、学校の誇となる記事(「多田大将を偲ぶ」あり)	印刷[謄写]			1綴	
227		先輩将帥に学ぶ多田駿大将の統率	安部邦夫(元陸将補)		昭和42年5月	満洲国軍政部最高顧問・支那駐屯軍司令官・参謀次長・北支那方面軍司令官としての事績、石原將軍との親交	印刷[活版]		陸上自衛隊幹部学校「幹部学校記事」第164号に掲載	1冊	
228		八十余年の歩み	多田睦		昭和55年10月	多田夫妻の略歴	印刷[活版]			1冊	
229		編者の言葉	渡辺清茂(ジャパン・クレジット・ビュロー取締役)	多田顕		多田駿から得た知遇・満洲国の五族協和の理想・敗戦原因は日本人の増長慢	印刷[カーボン(手書)]		顕は駿長男。戦史室返還分。	4枚	封筒、1枚
15. 書籍											
230		満洲写真帖	南満洲鉄道		昭和5年8月1日	満洲各地の写真が主。大連・奉天・長春等の都市、漢人・満洲人・蒙古人の風俗、農牧・鉱工業。前書は満洲の自然・人文	印刷		昭和5年版	1冊	
231		満洲事変写真集	偕行社		昭和9年5月15日	満洲事変・第一次上海事変に関する写真を集成。軍事行動(熱河作戦・長城攻撃等の作戦行動・都市入城・警備)・柳条湖・長城付近・宣撫班・停戦協定・排日・満洲国(建国・産業・新京)	印刷			1冊	
232		青島	光陽社		昭和15年1月5日	日本軍支配下での青島を撮影。日本人関係(神社・居留地・海軍行進・総領事館等)が多い。他に中国人風俗(露天市・葬式等)・西洋人等	印刷			1冊	
233		西安礦業所十年史	満洲炭礦西安礦業所		康德9(昭和17)年9月	沿革(満洲事変以前)・接收(単独経営時代・満炭時代)・現勢(採掘・附属施設・労働・総務)。陸軍大将数名・河本大作・鮎川義介等の揮毫あり	印刷[活版]		西安礦業所は満洲・四平の東方に所在。もと資料番号309と一括。	1冊	
16. 雑件											
234		支那全地図			大正5年5月	中華民国(満洲・新疆を含む)と外蒙古・チベット・朝鮮を載せた巨大地図。県・山脈・主要道路等まで表記	印刷			1枚	
235		勲章佩用心得	賞勲局			明治21年制定の心得。付属資料(1)は参列者徽章に関する規則(即位事務準備委員会)	印刷			1冊(同一2部)	(1)「要注意事項」、1枚/(2)多田名札、1枚

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
236		Itinerary for Mr. Tanaka & Party			11月25日～12月3日	ニューヨークからワシントン・ピッツバーグ・バッファロー・シカゴへ行く田中氏の旅行日程表	タイプ		大正13年7月～14年2月に多田が欧米出張	1通	宮内省封筒、1枚
237	1	陸軍特別大演習記念絵葉書	北海道庁		昭和11年10月	札幌神社・北海道帝大本営・閑院宮参謀総長・三毛第七師団長等の絵・写真				3枚(同一2部)	(1)保存袋、2枚／(2)包紙、2枚
237	2	[写真付葉書]				奉天(市街・公園)・山縣有朋騎馬像	写真	絵葉書	もと資料番号284と一括	3枚	丸形写真、1枚
238		[絵葉書]			昭和15年5月4日・6日	鹿島神宮楼門・尾上菊五郎公演「保名」(墨書で説明)	墨書	絵葉書		2枚	多田駿宛多田美津封筒、1枚
239		[卜占結果]		多田駿	昭和16年7月18日	2月生60歳である多田の今後運命を占う	墨書		「辛巳」の年	1部	大連ヤマトホテル封筒、1枚
240		菜單				中華料理献立	印刷			1枚	(1)中国人名刺、3枚／(2)写真、1枚／(3)封筒、1枚
241	1	従軍帖				黄河畔・中原(河南省)、太原・雁門(山西省)、包頭(内蒙古)の陣中で描いた画帳	水彩		北支那方面軍司令官期に作成か	1冊	
241	2	[画帳]				德州・滄県(河北省)・八達嶺・南苑・盧溝橋(北京)の陣地・戦跡・風景を描いた絵	水彩			1冊	
242		[印章]				略綬、帝国在郷軍人会徽章、昭和大礼記念章空箱 他				4点	フィルム、4枚
243		[名札・名刺]	多田駿			名札「多田軍政部顧問殿」・名刺「参謀総長 多田駿」	印刷		もと資料番号85と一括	2枚	
244		[名刺]	土岐龍太郎				印刷・墨書		作成者は渋谷区在住の医師	1枚	
245		[名刺]	岸本彦衛		昭和29年1月15日	御霊前に供えるための名刺	印刷・ペン		もと資料番号100と一括	1枚	未完成葉書、1枚
246		北京幕僚寄書	[北支那派遣軍]		[昭和15年2月24日]	派遣軍将校達(永津少将・佐官級)による寄書。「多田將軍陣中祝誕」等と書かれる	墨書			1部	
247		江防艦隊配備図				黒竜江・松花江上の艦隊配置図。満洲国(察哈爾省との間に国境線)西北部を図示	印刷			1枚	
248		満洲国軍管区及警備区域図				奉天・吉林・黒竜江・興安・熱河各省の軍管区担当区域・配備部隊を図示	印刷・ペン			1枚	
17. 写真											
249		[写真 陸軍幼年学校]			明治29年～35年	仙台陸軍幼年学校同期(東北を中心とする出身地と氏名を墨書)の顔写真、幼年学校の体育授業・校舎 他	写真			23枚	包装紙、2枚

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
250		[写真 陸軍幼年学校]			明治32年～33年	仙台陸軍幼年学校同期(東北を中心とする出身地と氏名を墨書)の顔写真、中央幼年学校の体育・軍事教練系授業	写真			25枚	包装紙、1枚
251		[写真]	ワンドス写真館			児童集合写真(野砲第4連隊長在任期か)	写真		写真館は南海本線高師ヶ浜駅前に所在	1枚	
252		歴史的写真 元満洲国皇帝皇后天津脱出の際			[昭和6年]	皇后脱出時に室内で撮影	写真		タイトルは保存用封筒より	1枚	封筒、1枚
253		陸軍大演習記念写真	外国武官誘導部		昭和8年10月	集合写真	写真		作成当時満洲国軍政府最高顧問	1枚	保存袋、1枚
254		北大宮写真			昭和9年8月5日	奉天北大宮昭和6年9月18日攻撃戦跡の見学時に撮影か。多田のいる写真あり	写真		年月日は見学日より	3枚	(1)見学記念カード、1枚/(2)封筒、1枚
255		第二軍管区司令官全体将校恭送多田少将閣下栄転帰国記念撮影			康德元(昭和9)年8月5日	多田が満洲国軍政部最高顧問を離任する際に軍管区将校達と共に撮影した集合写真	写真			1枚	
256		昭和九年特別大演習ニ於ケル高崎観兵式場			昭和9年	騎兵旅団。騎乗者が並んでいるところを撮る	写真			1枚	
257		[写真]				多田の写真あり。軍務・満洲国・礼装 他	写真		名札は少将時のもの	1部	(1)封筒、3枚/(2)名札、1枚
258		[写真]				満洲国軍政部最高顧問期。艦上での式典。海軍軍人が並ぶ中陸軍代表(右方に多田)が答辞を読む	写真			1枚	
259		[写真 川島芳子]					写真			2枚	
260		旅団長時代ノ部 宮殿下御写真在中	野々垣写真館		昭和9年8月～10年7月	野戦重砲第4旅団長時代の写真。軍務・休日共にあり	写真		甲府の写真館で作成	1部	封筒、1枚
261		[写真]	金谷写真館	多田駿		旅団長(野重第4旅団)期に隊の者達と撮影	写真		写真館は野戦重砲兵第8聯隊等の御用達	1枚	封筒、1枚
262		[写真 多田駿]				多田少将の肖像写真	写真			3枚	
263		[写真]	斎藤康治	多田睦	昭和10年11月18日	睦夫人と子息の写真	写真		「睦子」宛。斎藤は仙台在住	2枚	封筒、1枚
264		[写真 多田駿夫妻]	福寿照像館			陸軍中将期(支那駐屯軍司令官)に睦夫人と	写真		照像館は天津日本租界に所在。支那駐屯軍司令官在任期か	1枚(同一3部)	封筒、2枚

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
265		[写真]	水尾写真館		昭和11年6月4日	多田中将を含む陸軍軍人の集合写真。1枚は仙台の伊達政宗騎馬像下。1枚は吉岡中将(留守第11師団長)・山室中将(多田後任の第11師団長)等との撮影	写真		年月日は伊達政宗像写真の撮影日。写真館は香川県善通寺に所在	3枚	封筒、1枚
266		善通寺時代ノモノ			昭和11年7月21日	第11師団長期の写真。「送別会ニ於ケル記念写真人名表」(婦人方の集合写真)・多田駿集合写真・国防婦人会での多田演説・睦夫人・張景恵	写真		年月日は「送別会ニ於ケル記念写真人名表」より。タイトルは封筒表記より採った	10枚	封筒、1枚
267		[写真 第11師団長期]			昭和11年9月～11月	洞窟見学・川での投網・山砲兵第十一聯隊炊事場 他	写真			9枚	封筒、1枚
268		昭和十二年五月団隊長会議記念写真	水尾写真館		昭和12年5月	集合写真。多田第11師団長、歩兵第12・22・43・44連隊長、軍医・経理部長等を合撮	写真		写真館は香川県善通寺に所在	1枚	(1)写真、5枚/(2)封筒、1枚
269		[写真 多田駿]	山下写真館			陸軍中将・第11師団(丸亀)長期に公用車と撮影	写真		写真館は香川県丸亀に所在	1枚	
270		[写真 善通寺第11師団]	第11師団司令部	多田駿		集合写真。師団構成員(多田師団長・連隊長・参謀・各部長等)四国4県の知事・市長	写真			2枚	封筒、2枚
271		[写真 香川県善通寺高等女学校]				集合写真(生徒・国防婦人会)	写真			2枚	封筒、1枚
272		[写真]			昭和12年11月4日	南京で撮影(封筒表記と異なる)	写真		封筒表記は「保定・易県へ御出張中ノ写真」	1枚	封筒、1枚
273		[写真]			[昭和12年カ]12月3日	学生服姿の多田子息と思われる写真	写真			7枚	包紙、1枚
274		[写真]			昭和12年12月	多田を中心とする軍人(1枚は将校のみ)の集合写真	写真			2枚	
275	1	[写真]			昭和13年6月5日	多田を含む集合写真。再創設仙台陸軍幼年学校開校記念仙幼会総会	写真			1枚	包紙、1枚
275	2	[写真 仙台陸軍幼年学校址]				学校址の碑は多田(第一期生)筆による。明治30年から大正13年に建っていた所にある	写真			2枚	
276	1	板垣閣下陸相就任祝賀会	浅石写真館	多田駿	昭和13年6月19日	在京岩手学生会春季総会。集合写真(岩手所縁の主要人物・婦人・学生)	写真			1部	封筒、1枚
276	2	[写真]			[昭和13年]	南部利英・板垣征四郎・米内光政・東條英機等が出席。1枚は板垣起立。他1枚は多田夫人が板垣等と映る	写真			2枚	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
277		[写真]			[昭和13年カ]	多田が参謀等と視察した際に撮影。写真の1枚は「脇坂部隊占領」の柱が建つ	写真		脇坂部隊は南京戦で一番乗りを果たした部隊	10枚	封筒「参謀次長閣下」、1枚
278		閑院宮小田原御別邸				陸軍大臣・陸軍次官・参謀次長等を御招待	写真		もと資料番号215と一括	1枚	
279		[写真]			[昭和13年]	集合写真。秩父宮・多田中将・橋本少将以下陸軍将校(他に稲田大佐・井本少佐・堀場少佐等の佐官級)と高松宮・古賀中将以下海軍将校が写る	写真		8月～12月の間に撮影。もと資料番号312と一括。	1枚	
280		[写真]				参謀本部を背にした集合写真。多田の他閑院宮・杉山・梅津等在京中の将校が多数並ぶ	写真			1枚	
281		[写真]				多田が写る集合写真(他に杉山・梅津等の軍人や文官)	写真			1枚	封筒、1枚
282		[写真]				多田を含む陸海軍軍人等との室内集合写真。日本海海戦三笠艦橋の絵が背景	写真			1枚	
283		[写真]	[多田駿]			参謀次長在任期(米内・板垣・東條等との会議中の写真 他)・中国駐在期(上空視察 他)・予備役期	写真		もと資料番号367と一括	1部	
284		[写真]			[昭和13年～]	昭和13～14年の撮影分・中国大陸分・睦夫人分等あり	写真			1部	封筒、1枚
285		昭和十四年三月二十一日生 西浦徹 生後八十日	鶴養写真館		[昭和14年6月9日]		写真		写真館は東京杉並区に所在	1枚	
286		[写真 北支那方面軍司令官期]			[昭和14年9月～16年7月]	北支那方面軍司令官として華北各地で軍務に就く写真を集成。華北交通社屋・万里長城を撮影した写真あり	写真		封筒は大阪毎日新聞・東京日日新聞北京支局	1部	封筒、1枚
287	1	昭和十四年十一月四日 南京ニテ	多田駿		昭和14年11月4日	池で投網をする光景	写真		もと資料番号302と一括	1枚	
287	2	北京万寿山昆明湖畔			昭和14年9月28日		写真		もと資料番号302と一括	2枚	
287	3	[写真]	北支軍報道部写真班		昭和15年10月9日	中国で外国人・参謀と会見する多田	写真		もと資料番号302と一括	1枚	
287	4	紀元二千六百年記念観兵式			[昭和15年]	将校達の馬上姿。先頭馬上の英姿は佐々木部隊長	写真		もと資料番号302と一括	1枚	
288		[写真]			昭和14年10月3日	多田が清水部隊本部を初めて巡視している様子	写真			1枚	
289		[写真]			昭和14年10月3日	1枚は北支那方面軍司令官としての軍務、1枚は集合写真(平服)、他は関東軍・満洲国幹部経験者(武藤・菱刈・本庄・東條・星野等)夫人達の集い	写真		駐日満洲国大使館より送付。年月日は軍務写真の作成日より。	3枚	封筒、1枚

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
290		昭和十四年十一月四日 於南京			昭和14年11月4日	釣りを楽しむ多田	写真			2枚	
291		昭和十四年十一月 於北京			昭和14年11月	多田の軍装肖像写真	写真			1枚	
292		[写真]			民国29(昭和15)年3月	日本軍占領下の北京。軍人・居留民の囀上にナチスドイツ等の国旗が掲揚	写真			2枚	多田睦宛白井正容封筒、1枚
293		多田司令官閣下蒞臨北京市公署撮影記念			民国29(昭和15)年4月13日	北京市役所前で将校・日中両国の文官と撮った多田の集合写真	写真			1枚	
294		[写真 阿部田中両家結婚披露宴]	伊勢丹写真部	多田睦	昭和15年4月18日	婦人方の集合写真	写真		「睦子」宛。年月日は晩餐会開催日より。	1枚	(1)献立(晩餐会)、1部/(2)包装用厚紙、1枚
295		昭和拾五年四月貳拾七日 朔県・黒田部隊御巡視ノ節記念写真			昭和15年4月27日	梅津美治郎との写真、向日葵の下の多田 他	写真		タイトルは袋表記より。もと資料番号303-1と一括。	8枚	保存紙、1枚
296		[写真]			民国29(昭和15)年10月	多田の軍務・集合写真と「陳一菴先生遺像」	写真		もと資料番号303-1と一括	4枚	保存紙、1枚
297		北京忠霊塔地鎮祭			[昭和15年11月13日]	供え物の前で敬礼	写真		年月日は資料番号299の地鎮祭写真の挙行日より	1枚	
298		[写真 北京]			昭和15年11月24日～12月8日	多田の闖兵・北京神社・日満華条約締結祝賀会・海外同胞皇軍慰問団の多田訪問・華北交通厚生列車・戦死者告別式	写真			1部	
299		[写真 北支那方面軍司令官期]			昭和15年11月26日～16年1月6日	日満華条約締結祝賀会・海外同胞皇軍慰問団の多田訪問・華北新民会最初の全体協議会(多田・王揖唐の式辞)・北京遷都一周年記念(式典での多田訓示・民衆大会)・北京忠霊塔地鎮祭・大谷尊由碑建立祭・野村駐米大使との会見	写真		通信社用写真	1部	
300		紀元二千六百年 記念観兵式絵葉書	陸軍省		昭和15年	航空隊飛行・戦車隊・天皇陛下御乗馬	写真			3枚	
301		[写真 木谷資俊墓]			[昭和15年3月30日以降]	北京で陣没した木谷野重砲第2旅団長(広島出身)の墓。多田軍司令官撰による弔辞	写真		もと資料番号284と一括	1枚	弔辞、1枚
302		晋祠鎮視察			[昭和15年頃]	北支那方面軍司令官として軍務に励む多田。視察・洞窟司令部入口・遣支艦隊艦艇上	写真		タイトルは封筒表記より	11枚	封筒、1枚
303	1	[写真]			[昭和15年頃]	中国大陸(華北)で撮影された写真。北支那方面軍司令官期	写真			1部	封筒(資料番号303-1～4を封入)、1枚

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
303	2	[写真]				主に日本国内で撮影された写真。昭和15年の写真あり	写真			1部	
303	3	[写真]	読売新聞北支総局	多田駿		多田の飛行機搭乗時と城壁上・街中の写真	写真			6枚	封筒(読売新聞北支総局大類芳邦)、1枚
303	4	古野同盟通信社長と懇談			3月6日	於官邸	写真			1枚	
304		昭和十六年歳次辛巳六月四日 挙式記念	大紀写真館		昭和16年6月4日	大原正一・さち子夫妻の結婚記念写真	写真		写真館は神戸に所在	2枚	
305		[写真]			昭和16年6月30日	多田夫妻の写真、行幸記念碑前の軍人夫妻集合写真、多田家関係	写真		封筒は渋谷区・睦夫人宛	6枚	陸海軍将校婦人会本部封筒、1枚
306		[写真]				軍務に励む多田と万里長城沿いの町の写真。長城を背にした多田の集合写真あり	写真		北支那方面軍司令官期のものか	7枚	
307		[写真 多田駿]				景勝地(中国か)で撮影	写真		もと資料番号110と一括	1枚	
308		河本理事 司令官閣下				北支那方面軍司令官期の多田中将写真と河本大作写真(胸像・線路視察時)から成る	写真		タイトルは封筒表記より。もと資料番号286と一括。	1部	封筒、1枚
309		[写真 河本大作]				河本胸像(満洲炭礦本部事務所前)除幕式。河本自身と家族が列席	写真		もと資料番号328と一括	5枚	札(「故河本大作様・故東宮様関係」)、1枚
310		[写真]				輸送機を背景とする多田等将校の集合写真	写真			2枚	
311		[写真]				華北での冬季演習を撮影したものが主	写真		もと資料番号312と一括	1部	封筒、1枚
312		[写真]				華北で軍務に励む多田の写真が主(演習・後方輸送)。他に多田の子息と思われる写真	写真			1部	献立(永井・有馬両家披露宴)、1枚
313	1	[写真 多田駿]	東條スタジオ			陸軍中将期	写真		スタジオは麹町(東京)に所在	1枚	
313	2	[写真 多田駿]				陸軍中将としての肖像写真	写真			1枚	
313	3	[写真 多田駿]				中将期の顔写真	写真			1枚	
314		[写真]				無煙炭坑へ行った時に撮影	写真			1枚	
315		正定県城写真	日ノ出写真館			河北省正定県を撮った写真。大仏寺仏像・城壁からの景色	写真		写真館は石家荘に存在。タイトルは袋表記より。もと資料番号303-1と一括。	1部	保存袋、1枚

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
316		[写真]				多田駿を中心とした陸軍将校達の集合写真	写真			1枚	
317		昭和十六年七月十四日 景山・北海視察 北京神社参拝 記念写真			昭和16年7月14日	北京市内視察	写真			12枚	封筒、1枚
318		[写真 馬廷賢]	中華撮影公司	多田駿	[昭和16年7月]	回教徒式の顎鬚を生やした肖像写真	写真		多田は大将。撮影所は天津に所在	1枚	
319		昭和十六年七月二十四日 帝都帰還日			昭和16年7月24日	多田大将の軍装肖像写真。多田の墨書署名入り	写真			1枚	
320	1	[写真 多田駿]	同盟通信社写真部		[昭和16年7月]	菊紋付馬車上で敬礼する多田大将(軍事参議官)	写真			2枚	封筒、1枚
320	2	[写真 多田駿]	読売新聞社写真部		[昭和16年7月]	資料番号320-1の1枚と同一場面	写真			1枚	封筒、1枚
321		[写真]			昭和16年9月4日	中隊会の記念集合写真の他は建物内外を撮影したものが主	写真		年月日は中隊会記念写真の撮影日より。もと資料番号349と一括。	40枚	
322	1	[写真 多田駿]	新宮館		[昭和16年]	多田大将の軍服写真	写真		作成者(写真館)は東京麻布に所在。もと資料番号312と一括。	3枚	封筒、1枚
322	2	[写真]				多田と将校2人で写る。資料番号322-1の1枚と同一内容。	写真			1枚(同一2部)	
323		[写真]			[昭和16年]	多田・土肥原賢二両大将(被帽)	写真			1枚	
324		[写真]			[昭和16年]	多田・土肥原賢二両大将(無帽)	写真		もと資料番号366と一括	1枚	
325		[写真 多田駿]	朝日新聞東京本社写真部		[昭和16年]	1枚は肖像写真、他は中国戦線作戦会議絵画が背景	写真			2枚	
326		[写真]			昭和16年10月	荒雄川神社(宮城県鬼首・多田大将額書あり)・石窟 他	写真		年月日は荒尾神社分の撮影日より	4枚	
327		[写真]			昭和17年1月17日	永倉進別邸で撮った多田の集合写真	写真			1枚	
328		昭和十七年三月十七日 糸魚川相馬先生訪問	高野写真館		昭和17年3月17日	新潟県糸魚川で相馬御風と撮影	写真		写真館は糸魚川に所在	1枚	封筒、1枚
329		[写真]	教育総監部	多田駿	昭和18年2月28日	多田揮毫の書が講堂で掲揚された写真	写真		年月日は撮影日より。封筒消印日は3月6日。	3枚	封筒、1枚
330		昭和十八年七月四日 開校七十周年記念式典	仙台市木町通国民学校児童保護者会	多田駿	昭和18年7月4日	小学校講堂での式典。他に民衆を前にする多田・銃後写真(コンクールの絵) 他	写真		もと資料番号302と一括	5枚	

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
331		[写真]	李闢革塵	多田睦		李闢革塵惠贈の家族写真。主人は軍人	写真		哈爾濱の写真館で撮影。「多田夫人」名義	1枚	
332		[写真]				閲兵式の様子。1枚は天皇陛下御騎乗姿、他は騎馬・自走車両	写真			2枚	
333	1	[写真 多田駿]				少将期	写真			1枚(同一3部)	
333	2	[写真 多田駿]	新宮館			中将期	写真		東京で撮影	1枚	
334		[写真]	黒田写真館			多田を中心とする集合写真	写真		写真館は宮城県白石に所在	1枚	
335		[写真]				多田夫妻が写る集合写真2枚。1枚は陸軍軍人の結婚式、他は仏寺(軍服姿)での撮影	写真		写真館は仙台に所在	1部	
336		[写真]	田中義雄			久留米市高良神社での集合写真。多田は軍服姿	写真		作成者は久留米の写真業	1枚	封筒、1枚
337		[写真]				軍馬と共に多田が写る	写真			1枚	
338		[写真]				列車上の多田夫妻を見送る	写真			1枚	
339		[写真]				多田夫妻の写真 他	写真			5枚	封筒、1枚
340		[写真]				邸宅で撮った集合写真	写真			1枚	
341		[写真]				多田を中心とした写真。背広姿	写真			1枚	
342		[写真]				屋外での酒宴。多田は平服(和服)姿	写真		東京麻布の写真館で現像	1枚	
343		[写真 多田駿]				料亭で法被を着た写真	写真			4枚	封筒、1枚
344		[写真 何素璞]	何素璞			何の肖像写真。他に「道院母院新殿落成記念」・幼児の写真	写真		もと資料番号302と一括	9枚	
345		[写真]				中国人肖像写真	写真			1枚	
346		[写真]				2枚は随員との移動、2枚(同一)は自宅部屋での休息	写真		もと資料番号312と一括	4枚	封筒、1枚
347		[写真]				多田による奉天会戦についての一般市民向け講義	写真			3枚	
348		[写真]				多田頭の写真か	写真			1部	封筒(大阪で作成)、1枚
349		[写真]				家族に関すると思われる小写真が主	写真		小型の写真多数	1部	封筒、2枚

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
350		[写真]				睦夫人与子女達	写真			3枚	封筒、1枚
351		[写真]				多田子息に関する2枚(家族・新婚)・祭礼行列1枚の写真	写真			3枚	絵葉書、1枚
352		[写真]	目黒雅叙園			睦夫人を含む婦人方の集合写真	写真			1枚	
353		[写真]				建物入口前で睦夫人を中央に婦人方が並ぶ。最前列は子供達	写真			1枚	
354		[写真 結婚披露宴]				新郎新婦の写真	写真			1部	
355		[写真]	軍人会館写真館			結婚披露宴写真	写真		写真館は東京九段に所在	1枚	
356		[写真]				若い女性の写真	写真			1枚	
357		[写真]				日本国内と思われる写真(多田の姿無し)	写真			2枚	
358		[写真]				多田中将を含む陸軍軍人の集合写真	写真		東京で撮影	1枚	
359		[写真 徳王訪日]			[昭和13年10月]	蒙古連盟自治政府要人訪日時に多田・板垣陸相・東條次官等陸軍省・参謀本部将校や外務省職員と撮影	写真			1枚	
360		御前会議写真			[昭和13年]	陸海軍軍人の前で天皇陛下が鎮座。陸軍側先頭に載仁親王、3人目に多田	写真			1枚	
361		[写真]				皇族軍人(朝香宮鳩彦王カ)を中心にし多田中将を含む文武官が並んだ集合写真	写真			1枚	
362		[写真 多田駿]	新宮館		[昭和16年]	多田大将の勲章付軍服姿	写真		作成者は東京麻布の写真館	1枚	
363	1	[写真]				葬儀を撮影。礼装姿の陸軍軍人等が列席	写真			1枚	
363	2	[写真]				葬儀を撮影。礼装姿の陸軍軍人等が列席	写真			1枚	
364		[写真]				将校等との集合写真	写真			1枚	
365		[写真]				兵舎・天幕を背景にした軍人(一部は海軍幹部)多数の集合写真。閑院宮載仁親王をはじめとする皇族を中央部に頂く	写真			2枚	賞状筒、1本
366		[写真 多田駿]				多田大将の肖像写真	写真			1枚	

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
18. 写真帖											
367		[写真帖]	[多田駿]			多田の若年(士官学校生徒・尉官)期を中心とした写真を集成	写真			1冊	封筒、1枚
368		北京時代 (大正六～十五)	[多田駿]		大正6年～昭和2年	北京陸大教官期他。坂西利八郎・多田の写真多数。他に青木宣純・柳川平助・相馬愛蔵夫妻、睦夫人の婦人会関係	写真		相馬夫妻のは昭和2年撮影	1冊	
369		[写真帖]			[昭和3年以前]	華北(直隸・山東・山西・河南・北京)・華南(蘇州)・蒙古・南満洲・朝鮮各地の名所・風俗を撮影した写真を集成	写真		印画複製禁止とある(複数部制作された帖か)	1綴	
370		昭和三年ヨリ同五年前後 (京都師団時代)	[多田駿 他]		[大正14年～昭和42年]	野砲第4連隊長(耐寒行軍・大礼観兵式・入隊生・所属将校集合写真)・第16師団参謀長(満洲遼陽滞在・京都偕行社・山本師団長)期が中心。遼陽では張学良側との写真あり。他に大正14年の富士五湖巡り、昭和42年頃の多田家	写真		野砲第4連隊は大阪、第16師団は京都に所在	1冊	
371		満洲国時代	[多田駿]		[昭和7年4月～9年8月]	関東軍(武藤信義・佐々木到一他)・満洲国(張景恵・張海鵬他)関係者との写真、満洲国剣道大会、帝制第一回大典観兵式(皇帝式辞朗読)、熱河作戦	写真		年月日は満洲国軍政部最高顧問就任期より	1冊	
372		大連(河本公館ニテノ集リ)・四国(師団長時代)・浜寺(留守宅) 相馬家御一族ノモノ	[多田駿]		[昭和7年カ]～[昭和30年3月]	河本大作・普通寺第11師団長期(参謀部令夫人方)・睦夫人肖像(16年)・相馬愛蔵一家・相馬黒光葬儀	写真			1冊	
373		東北国境写真集	東宮鉄男	多田駿	昭和9年8月1日	満ソ東北国境。依蘭地区警備司令部・「共産党の末路」・「ソ聯の防備」・「三等船客」・饒河・虎林市街	写真		「東宮少佐作」と表記。もと資料番号309と一括。	1冊	
374		天津附近水害並対策状況写真集	本間部隊本部		昭和14年	日本租界の浸水と軍・居留民による築堤・排水作業、華人への食糧配給	写真			1綴	
375		五台山写真帖	篠塚部隊本部		昭和15年	台懐鎮全景・参道・六月大会に沸く文書菩薩道場・僧侶・黄金仏・蒙古人礼拝。前文は「五台山復興縁起」(略歴・大会復活・東亞提携)	写真		日本軍は13年夏に五台山占領	1冊	
376		北支関係	[多田駿]		[昭和16年頃]	北支那方面軍司令官期が主。各国滞在員・北京官邸・司令部での将校集合写真・土肥原賢二・帰国直前の多田	写真			1冊	

多田駿関係文書目録

請求番号	枝番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
377		昭和十年天津軍司令官時代 相馬御風先生			昭和10年	多田の他中国側要人・天津在勤諸外国武官・相馬御風・大谷光瑞が写る。睦夫人の写真もあり	写真			1冊	
378		参謀総長閑院宮載仁親王御写真			昭和13年12月～20年5月	「陸軍大学校卒業記念(第四十九期生専科第四期生)(載仁親王・春仁王・多田校長・教官・卒業生の集合写真)・親王葬儀の際葬儀祭官長を務めた際が多田の写真 他	写真		多田の参謀次長辞任時に下賜	1冊	
379		[写真帖]				天皇皇后両陛下・満洲国皇帝の肖像写真、天皇陛下・満洲国皇帝・朝香宮・多田少将が列席する閲兵式	写真			1冊	
380		巡視状況写真	岩松部隊参謀部写真班			部隊が山西省五台县台懷鎮に至るまでの写真帖。多田の姿あり。山岳行軍・五台山(仏寺における支那事变殉難者慰霊祭・白塔と蒙蔵仏学院)	写真		岩松部隊は長野県出身者で編成。写真綴	1綴	
381		[写真帖 大同雲崗石仏]				大同(中国)に所在する雲崗石窟の石仏・彫刻	写真			1冊	
382		昭和十四年 北支派遣軍司令官	東亜新報社		昭和14年9月18日～15年5月10日	北京での写真が主。飛行場・記者会見・外国武官招待・興亜訓練所・居留民・汪兆銘訪問・慰霊祭・前線視察	写真			1冊	
383		昭和十五年 北支派遣軍司令官	東亜新報社		昭和15年6月30日～16年4月23日	記者会見・飛行機献納命名式・閲兵・新民会・前線視察・軍官学校卒業式・日独庭球大会・日満華国交条約・陸軍記念日・来燕(東條・畑)・北京神社 他	写真			1冊	
384		昭和十六年 北支派遣軍司令官	東亜新報社		昭和16年4月29日～7月13日	天長節式典・前線視察(新黄河・高揚・運城)・中原会戦・閲兵・慰霊祭・興亜関係・離任	写真			1冊	
385		興亜天覧会 記念写真帖			昭和16年7月	展覧会(7月5～11日、於北京)で撮影された写真。多田・部隊長・王揖唐の観覧、北支開発・華北交通・華北電電等の館・展示	写真			1綴	
19. 第2次搬入分											
386		[多田駿宛 中国要人寄書]	靳雲鵬 他	多田駿	[昭和11年4月]	多田の中国離任前に寄せた中国要人による漢詩。作者は靳の他に齊燮元・王揖唐・陸宗輿等	墨書		丙子初夏に作成。多田は支那駐屯軍司令官	1部	孫潤宇名刺、1枚
387		康德六年度工作方針	牡丹江省本部		康德6(昭和14)年3月10日	「牡丹江省当面ノ基本的課題」・「本省会運動当面ノ任務」・「康德六年度一般工作方針」(実践方針・組織方針)	タイプ		書込あり	1部	

多田駿関係文書目録

請求 番号	枝番 号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
388		[南京政府和平建国記念碑 拓本]	黄慰萱		[昭和15年]	3月14日中央執行委員会(汪兆銘政権)における31日以前に遷るといふ決議(上海)	拓本		3月30日の遷都に関連	1枚	
389		メーソン夫人ヨリ多田へ宛テタル書簡 訳文	メーソン夫人	多田駿	昭和16年5月25日	主人死去への弔電に対する礼状(英語)の和訳	タイプ			1枚	
390		多田駿手記	多田駿		昭和21年1月5日		タイプ		初版。極東国際軍事裁判資料	同一2部	
391		A級戦争犯罪人被疑者弁護士連絡者名簿	終戦連絡中央事務局戦犯事務室		昭和21年3月1日	被疑者・弁護士・連絡先一覧	タイプ		書込あり	1部	
392		[極東国際軍事裁判 英文資料 青木一男]				青木の対満事務局次長期(昭和11年3月就任)からの事績。中華民国赴任時の内容あり	タイプ			1部	